

令和4年度

デジタル経営診断の実施結果について

デジタル経営診断 実施の背景と目的

<デジタル経営診断 実施の背景・目的>

昨今、データやデジタル技術を活用してこれまでにないビジネスモデルを展開する新規参入者が登場し、あらゆる産業においてゲームチェンジが起きつつあり、各企業は、競争力維持・強化のために、デジタルトランスフォーメーション（DX）をスピーディーに進めていくことが求められている。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う接触回避や移動制限などの制約により、各企業は従来のビジネス様式を大きく変化させられ、デジタル技術の活用（以下「デジタル化」という。）を強く求められている。

デジタル経営診断は、こうした社会の変化を踏まえ、県内事業者が自社のデジタル化状況を把握し、デジタル化や企業変革の必要性を認識することで、今後の推進方針を認識する機会を提供するために実施するものである。

デジタル経営診断 概要

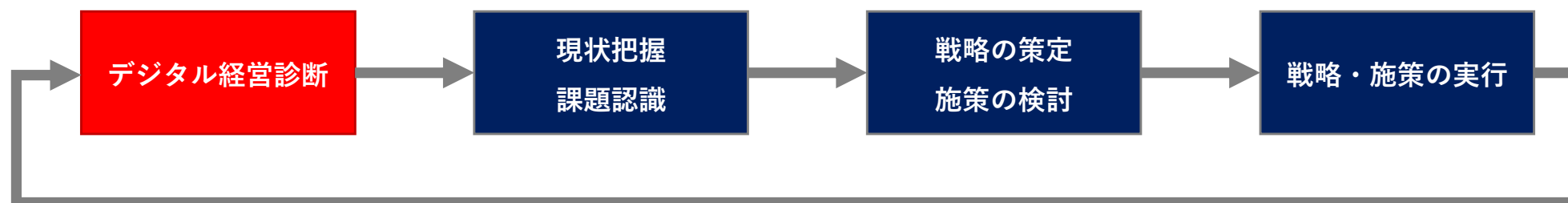
< デジタル経営診断 概要 >

「デジタル経営診断」は、事業経営者のための自己診断ツールであり、事業経営者が自社のデジタル化の現状や課題を認識し、デジタル化に向けたアクションを起こすための機会を提供するツールである。

デジタル経営診断は、事業者が直面している課題について、6つのカテゴリ（経営戦略、組織体制と仕組み、デジタル人材育成、新規事業創発、デジタルツール、業務改革）各5項目、合計30の項目に関してデジタル化の現状を自己評価するとともに、ベンチマークとして事業者の平均値（全事業者・業種別）との比較を可能としている。

診断を通じ、事業者の優位性やベンチマークとのギャップ、優先的に取り組む課題などを「見える化」し、企業変革のために何から着手すべきか、次のアクションを検討するヒントを示唆することを目指す。

また、デジタル経営診断では、各事業者毎に診断結果が時系列に蓄積される仕組みとなっており、事業者が自社のデジタル化の進捗管理や取組内容を継続的に評価するために利用することを想定している。



診断指標の構成について

- 6 カテゴリ各5項目、計30の指標でデジタル化の現状を評価する。各項目の論点は下表に記載の通りである。
- カテゴリ1は経営戦略・経営計画の策定状況や経営者のビジョンの浸透度合いについて、カテゴリ2は組織の成熟度やデジタル化を推進するための体制・仕組みの構築について、カテゴリ3はデジタル化に向けた人材の獲得努力、育成、活用について、カテゴリ4は新規事業創発に向けた変革意識や新事業創出に向けた取組について、カテゴリ5はデジタルツールの利活用について、カテゴリ6はデジタルを活用した業務効率化、生産性向上の取組について問う内容となっている。

| カテゴリ | No. | 項目 | 論点 |
|-------------|-----|----------------|---|
| 1. 経営戦略 | 1 | 目指す姿の明確化 | デジタル化(手段)を経営の目的とせずに、目指すべき姿(ビジョン)を先に定めているか？ |
| | 2 | 経営戦略の策定 | 目指すべき姿の実現のために、手段の検討を行っているか？ |
| | 3 | 経営計画の策定 | 目指す姿に対して、マイルストーンを定め、達成度について振り返りができているか？ |
| | 4 | ビジョンの共有 | 経営者や社内一部のメンバーが策定した経営戦略および経営計画が社内全体共有され、会社が示す方針として機能しているか？ |
| | 5 | 経営指標の管理 | 経営戦略、計画の達成度を定量的に評価する仕組みが存在するか？ |
| 2. 組織体制と仕組み | 6 | 管理体制 | 方針の策定や起こった問題に対して柔軟に対応ができる組織か？ |
| | 7 | デジタル化の推進体制 | 会社としてデジタル化を具体的に推進する意思があるか？ |
| | 8 | 投資の意思決定 | 投資判断は定性的に行っているのか、定量的に行っているのか？定量的に判断している場合は、投資の減額、ストップするケースまで想定した基準が設けられているか？ |
| | 9 | 情報セキュリティ体制 | 人によるセキュリティインシデントを回避する対策が取られているか？ |
| 3. デジタル人材育成 | 10 | 情報セキュリティの仕組み | 人では回避できないセキュリティインシデントを仕組み(ツール)で対策できているか？ |
| | 11 | デジタル人材の確保 | デジタル化を推進するためのスキルがどの程度社内で醸成されているか？ |
| | 12 | デジタル人材の採用・育成計画 | デジタル化を推進するために求める人材像やスキルが明確に定義されているか？ |
| | 13 | デジタルスキルの把握と活用 | デジタル化を推進するために必要なスキル定義がされていた場合、自社の人材の強みと弱みが定量的に把握されているか？ |
| | 14 | デジタル人材の育成制度 | 自社のデジタルスキルの弱みに対してどのようなアプローチを取るべきか検討されているか？ |
| 4. 新規事業創発 | 15 | 採用計画と外部連携 | 自社ではまかなうことができないスキルについて、採用や外部との連携によって補うことができているか？ |
| | 16 | 企業文化・組織風土 | 新規事業に取り組むことを会社全体として、前向きに捉えることができているか。 |
| | 17 | 顧客の声の共有・活用 | 自社の改善・改革を図るための起点として顧客の声を聴くことができているか(ニーズの把握)？集約された顧客の声をどの程度活用できているか？ |
| | 18 | 先端技術情報の収集と活用 | 市場の最新情報を収集し、自社の改善・改革(シーズの創出)に活かすことができているか？ |
| | 19 | オープンイノベーション | 市場の最新情報に関する分析をもとに、自社のリソースに不足している要素を社外の機関を活用し、自前主義から脱却しているか？ |
| 5. デジタルツール | 20 | デジタルマーケティング | 自社の製品やサービスをこれまでの手法にとらわれずに、宣伝・営業できているか？ |
| | 21 | 情報の分析と活用 | 社内外のデータ収集および利活用の推進度合いは？ |
| | 22 | コスト削減・業務効率化 | コスト改善、業務効率の観点におけるデジタル化推進状況は？ |
| | 23 | 新たな技術・ツールの活用 | 業務改革・改善を目的とした最先端技術の導入検討ができているか？技術・ツールから選定し、目的が定まっていない状態になっていないか？ |
| | 24 | コミュニケーション方法 | リモートワークの実現を目的としたデジタルコミュニケーションの準備ができているか？ |
| 6. 業務改革 | 25 | テレワークによる働き方改革 | 新しい働き方に備えた準備が整っているか？整備された環境を活用できているか？リモートで勤務する社員の業務効率を確認できているか？ |
| | 26 | 人的資源管理のデジタル化 | 経営資源の一つである「ヒト」の情報をデジタル化することによって、業務効率の改善や最適化が図れているか？ |
| | 27 | 資産管理のデジタル化 | 経営資源の一つである「モノ」の情報をデジタル化することによって、管理業務に関わる負担を軽減できているか？ |
| | 28 | 会計管理のデジタル化 | 経営資源の一つである「カネ」の情報をデジタル化することによって、管理業務を軽減できているか？また、集約された会計情報をもとに最適な経営判断ができる基盤が整っているか？ |
| | 29 | 作業手順の標準化 | 作業を属人化しないための対応が取れているか？ |
| | 30 | ペーパーレス化 | ペーパーレス化により業務効率化と必要な情報に容易にアクセスできる状態になっているか？ |

診断の評価方法について

■ 30の指標について、1～5の5段階の選択式の回答を設定した。

■ 回答レベルの設定は、回答3を「標準」（現時点で到達すべきと考えられるレベル）とし、事業者が回答を通じ、自社がどのレベルにいるかを把握するとともに、次のレベルを目指すためにはどのような取り組みが必要か意識することを目指した。

<カテゴリと設問数>

| | カテゴリ名称 | 設問数 | 回答方法 |
|---|----------|-----|------|
| 1 | 経営戦略 | 5 | 選択式 |
| 2 | 組織体制と仕組み | 5 | 選択式 |
| 3 | デジタル人材育成 | 5 | 選択式 |
| 4 | 新規事業創発 | 5 | 選択式 |
| 5 | デジタルツール | 5 | 選択式 |
| 6 | 業務改革 | 5 | 選択式 |
| 計 | | 30 | |

<回答のレベル設定（あくまで基本的な考え方であり各設問の内容に応じ、詳細のレベルを設定）>

| | |
|-------------|---------------------------------------|
| 回答1 | 取り組めていない／意識していないレベル |
| 回答2 | 関心があり検討している／取り組み始めているが標準レベルに届いていないレベル |
| 回答3 (標準) | 現時点で到達すべきと考えられるレベル |
| 回答4 | 具体的な取り組みを行い、継続的に改善も図られているレベル |
| 回答5 | 取り組みを行っており、成果や効果が現れているレベル |

■ 以下の配点により、各カテゴリの得点率をもとに各カテゴリ100点満点（計600点満点）で評価を実施した。

<配点及び集計方法>

| | 回答1 | 回答2 | 回答3 | 回答4 | 回答5 | → | カテゴリ満点 | → | カテゴリ得点 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--------|---|--------|
| 配点 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | 25 | | 100 |

(例)

| | | | | | | | | | |
|------|-----|---|---|---|---|---|---------------|---|-------------------|
| 経営戦略 | 設問1 | 1 | | | | → | 得点率 12/25点 | → | カテゴリ得点 48/100点 |
| | 設問2 | | 2 | | | | | | |
| | 設問3 | | 2 | | | | | | |
| | 設問4 | | | 3 | | | | | |
| | 設問5 | | | | 4 | | | | |

診断項目 カテゴリ1 「経営戦略」

| 項目 | 質問番号 | 論点 | 質問文 | 回答 | | | | |
|----------|------|---|---|----|---|-----------|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 (標準) | 4 | 5 |
| 目指す姿の明確化 | 1 | デジタル化(手段)を経営の目的とせずに、目指すべき姿(ビジョン)を先に定めているか？ | <p>質問及び回答は、以下のURLから「デジタル経営診断」にアクセスし、事業者登録を実施していただくと、ご確認いただけます。</p> <p>https://digital-wakayama.com</p> | | | | | |
| 経営戦略の策定 | 2 | 目指すべき姿の実現のために、手段の検討を行っているか？ | | | | | | |
| 経営計画の策定 | 3 | 目指す姿に対して、マイルストーンを定め、達成度について振り返りができているか？ | | | | | | |
| ビジョンの共有 | 4 | 経営者や社内の一部のメンバーが策定した経営戦略および経営計画が社内で全体共有され、会社が示す方針として機能しているか？ | | | | | | |
| 経営指標の管理 | 5 | 経営戦略、計画の達成度を定量的に評価する仕組みが存在するか？ | | | | | | |

診断項目 カテゴリ2 「組織体制と仕組み」

| 項目 | 質問番号 | 論点 | 質問文 | 回答 | | | | |
|--------------|------|--|--|----|---|-----------|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 (標準) | 4 | 5 |
| 管理体制 | 6 | 方針の策定や起こった問題に対して柔軟に対応ができる組織か？ | <p>質問及び回答は、以下のURLから 「デジタル経営診断」にアクセスし、 事業者登録を実施していただくと、 ご確認いただけます。</p> <p>https://digital-wakayama.com</p> | | | | | |
| デジタル化の推進体制 | 7 | 会社としてデジタル化を具体的に推進する意思があるか？ | | | | | | |
| 投資の意思決定 | 8 | 投資判断は定性的に行っているのか、定量的に行っているのか？定量的に判断している場合は、投資の減額、ストップするケースまで想定した基準が設けられているか？ | | | | | | |
| 情報セキュリティ体制 | 9 | 人によるセキュリティインシデントを回避する対策が取られているか？ | | | | | | |
| 情報セキュリティの仕組み | 10 | 人では回避できないセキュリティインシデントを仕組み(ツール)で対策できているか？ | | | | | | |

診断項目 カテゴリ3 「デジタル人材育成」

| 項目 | 質問番号 | 論点 | 質問文 | 回答 | | | | |
|----------------|------|---|--|----|---|-----------|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 (標準) | 4 | 5 |
| デジタル人材の確保 | 11 | デジタル化を推進するためのスキルがどの程度社内で醸成されているか？ | <p style="text-align: center;">質問及び回答は、以下のURLから 「デジタル経営診断」にアクセスし、 事業者登録を実施していただくと、 ご確認いただけます。</p> <p style="text-align: center;">https://digital-wakayama.com</p> | | | | | |
| デジタル人材の採用・育成計画 | 12 | デジタル化を推進するために求める人材像やスキルが明確に定義されているか？ | | | | | | |
| デジタルスキルの把握と活用 | 13 | デジタル化を推進するために必要なスキル定義がされていた場合、自社の人材の強みと弱みが定量的に把握されているか？ | | | | | | |
| デジタル人材の育成制度 | 14 | 自社のデジタルスキルの弱みに対してどのようなアプローチを取るべきか検討されているか？ | | | | | | |
| 採用計画と外部連携 | 15 | 自社ではまかなうことができないスキルについて、採用や外部との連携によって補うことができるか？ | | | | | | |

診断項目 カテゴリ4 「新規事業創発」

| 項目 | 質問番号 | 論点 | 質問文 | 回答 | | | | |
|--------------|------|---|---|----|---|-----------|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 (標準) | 4 | 5 |
| 企業文化・組織風土 | 16 | 新規事業に取り組むことを会社全体として、前向きに捉えることができているか。 | <p>質問及び回答は、以下のURLから「デジタル経営診断」にアクセスし、事業者登録を実施していただくと、ご確認いただけます。</p> <p>https://digital-wakayama.com</p> | | | | | |
| 顧客の声の共有・活用 | 17 | 自社の改善・改革を図るための起点として顧客の声を聴くことができるか（ニーズの把握）？集約された顧客の声をどの程度活用できているか？ | | | | | | |
| 先端技術情報の収集と活用 | 18 | 市場の最新情報を収集し、自社の改善・改革（シーズの創出）に活かすことができているか？ | | | | | | |
| オープンイノベーション | 19 | 市場の最新情報に関する分析をもとに、自社のリソースに不足している要素を社外の機関を活用し、自前主義から脱却しているか？ | | | | | | |
| デジタルマーケティング | 20 | 自社の製品やサービスをこれまでの手法に囚われずに、宣伝・営業できているか？ | | | | | | |

診断項目 カテゴリ5 「デジタルツール」

| 項目 | 質問番号 | 論点 | 質問文 | 回答 | | | | |
|---------------|------|---|-----|--|---|-----------|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 (標準) | 4 | 5 |
| 情報の分析と活用 | 21 | 社内外のデータ収集および利活用の推進度合いは？ | | <p>質問及び回答は、以下のURLから 「デジタル経営診断」にアクセスし、 事業者登録を実施していただくと、 ご確認いただけます。</p> <p>https://digital-wakayama.com</p> | | | | |
| コスト削減・業務効率化 | 22 | コスト改善、業務効率の観点におけるデジタル化推進状況は？ | | | | | | |
| 新たな技術・ツールの活用 | 23 | 業務改革・改善を目的とした最先端技術の導入検討ができていますか？技術・ツールから選定し、目的が定まっていない状態になっていないか？ | | | | | | |
| コミュニケーション方法 | 24 | リモートワークの実現を目的としたデジタルコミュニケーションの準備ができていますか？ | | | | | | |
| テレワークによる働き方改革 | 25 | 新しい働き方に備えた準備が整っているか？整備された環境を活用できているか？リモートで勤務する社員の業務効率を確認できているか？ | | | | | | |

診断項目 カテゴリ6 「業務改革」

| 項目 | 質問番号 | 論点 | 質問文 | 回答 | | | | |
|--------------|------|---|--|----|---|-----------|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 (標準) | 4 | 5 |
| 人的資源管理のデジタル化 | 26 | 経営資源の一つである「ヒト」の情報をデジタル化することによって、業務効率の改善や最適化が図れているか？ | <p>質問及び回答は、以下のURLから 「デジタル経営診断」にアクセスし、 事業者登録を実施していただくと、 ご確認いただけます。</p> <p>https://digital-wakayama.com</p> | | | | | |
| 資産管理のデジタル化 | 27 | 経営資源の一つである「モノ」の情報をデジタル化することによって、管理業務に関わる負担を軽減できているか？ | | | | | | |
| 会計管理のデジタル化 | 28 | 経営資源の一つである「カネ」の情報をデジタル化することによって、管理業務を軽減できているか？また、集約された会計情報をもとに最適な経営判断ができる基盤が整っているか？ | | | | | | |
| 作業手順の標準化 | 29 | 作業を属人化しないための対応が取れているか？ | | | | | | |
| ペーパーレス化 | 30 | ペーパーレス化により業務効率化と必要な情報に容易にアクセスできる状態になっているか？ | | | | | | |

診断結果画面（イメージ）

全業種

業種別

総合得点 348/600点

2021年度 全業種平均:360点
2021年度 製造業平均:360点

経営戦略

2022年2月
2021年度 全業種平均

※平均:各年度の4月1日～翌年度の3月31日の1年間に診断を実施した事業者の平均を表示しています。

※全業種の平均と業種別の平均を切り替えて確認できます。

※診断結果と県内事業者の平均得点がレーダーチャートに表示されます。

※各カテゴリの得点と特に課題となっている（最も得点が低い）項目へのコメントが表示されます。

経営戦略 回答の詳細を確認する

合計点 40/100点

(全業種平均:60点 製造業平均:60点)

目指す姿を描くことは重要です。事業環境の変化やトレンドを先読みして、中期的(3～5年)な目線で目指す姿を描いてみましょう。目指す姿が明確になったら、この先の3～5年で何を行うべきか考えましょう。

組織体制と仕組み 回答の詳細を確認する

合計点 76/100点

(全業種平均:60点 製造業平均:60点)

意識の低い社員がいると会社全体のセキュリティレベルが下がります。全社員を対象に管理体制やルールなどの教育を実施しましょう。

経営戦略 回答の詳細を閉じる

合計点 40/100点

(全業種平均:60点 製造業平均:60点)

目指す姿を描くことは重要です。事業環境の変化やトレンドを先読みして、中期的(3～5年)な目線で目指す姿を描いてみましょう。目指す姿が明確になったら、この先の3～5年で何を行うべきか考えましょう。

目指す姿の明確化 ★

設問 自社が置かれている経営環境下で、将来の目指す姿を描けていますか？

回答 描けていない。

コメント 目指す姿を描くことは重要です。事業環境の変化やトレンドを先読みして、中期的(3～5年)な目線で目指す姿を描いてみましょう。目指す姿が明確になったら、この先の3～5年で何を行うべきか考えましょう。

経営戦略の策定 ★★★★★

設問 目指す姿の実現のために経営戦略を定めていますか？
※経営戦略とは、将来の目指す姿を達成するための方策のこと。

回答 自社の強み・弱み、外部環境(市場動向や顧客ニーズなど)を把握したうえで、戦略を策定し、定期的に改善や見直しも実施している。

コメント よくできています。事業に関する戦略だけではなく、デジタル化に関する戦略も検討しましょう。事業戦略とデジタル戦略をうまく連携させることが重要です。

経営計画の策定 ★

設問 経営戦略にもとづいた経営計画を定めていますか？
※経営計画とは、単年度や複数年度にわたる具体的な売上高や利益などの数値目標や体制の整備などについての計画のこと。

回答 定めていない。

コメント 経営戦略にもとづき、経営計画を定めることは重要です。具体的な売上高や利益などの数値目標や体制の整備について計画を定めましょう。

ビジョンの共有 ★★★

設問 目指す姿や経営戦略、経営計画などを発信し、全社的に共有していますか？

回答 経営者の持つビジョンが経営層(役員)までは共有されている。

コメント 目指す姿や戦略、計画を経営層(役員)だけではなく、全社員に共有しましょう。社員が共通の認識を持つことにより、事業推進力の強化につながります。取り組む目的や意味を伝えること、社員の意見を戦略や計画に反映させていくことも重要です。

経営指標の管理 ★

設問 経営計画達成のために、指標や目標値を定め、進捗を管理していますか？

回答 指標や目標値を定めていない。

コメント 経営戦略や計画の達成度を定量的に評価することは重要です。指標や目標値を設定し、進捗管理を行う仕組みづくりを行いましょ。

※「診断の詳細を確認する」をクリックすると各カテゴリの設問・回答・コメントがすべて画面に展開されます。

※各設問の回答に対するコメントが表示されます。

事業者登録により取得するデータ

1. 事業者データ

| 区分 | 項目 | 方法 | 回答内容/制限等 |
|---------|---------------------|-----------|-----------|
| 共通 | 事業者種別 | 選択 | 法人/個人事業主 |
| 法人 | 主業種 | 選択 | 【主業種マスタ】 |
| | 法人番号 | 入力 | 半角数字 |
| | 法人名 | 入力 | 全角 |
| | 法人名カナ | 入力 | 全角カナ |
| | 所在地又は住所 | 選択 | 【所在地マスタ】 |
| | 連絡先 担当者氏名 | 入力 | 全角 |
| | 連絡先 担当者氏名カナ | 入力 | 全角カナ |
| | 連絡先 電話番号 | 入力 | 半角数字 |
| | メールアドレス (ログインID) | 入力 | 半角英数字 |
| | パスワード (半角英数字8文字以上) | 入力 | 半角英数字半角記号 |
| | 直近の年商 | 選択 | 【年商マスタ】 |
| | 従業員数 (パート・アルバイトを含む) | 選択 | 【従業員数マスタ】 |
| | 年間のIT費用 | 選択 | 【IT費用マスタ】 |
| 個人事業主 | 主業種 | 選択 | 【主業種マスタ】 |
| | 屋号 | 入力 | 全角 |
| | 屋号カナ | 入力 | 全角カナ |
| | 事業主 氏名 | 入力 | 全角 |
| | 事業主 氏名カナ | 入力 | 全角カナ |
| | 所在地又は住所 | 選択 | 【所在地マスタ】 |
| | 連絡先 担当者氏名 | 入力 | 全角 |
| | 連絡先 担当者氏名カナ | 入力 | 全角カナ |
| | 連絡先 電話番号 | 入力 | 半角数字 |
| | メールアドレス (ログインID) | 入力 | 半角英数字 |
| | パスワード (半角英数字8文字以上) | 入力 | 半角英数字半角記号 |
| | 直近の年商 | 選択 | 【年商マスタ】 |
| | 従業員数 (パート・アルバイトを含む) | 選択 | 【従業員数マスタ】 |
| 年間のIT費用 | 選択 | 【IT費用マスタ】 | |

2. 主業種

※経済センサス産業中分類の区分を適用。

| 大分類 | 中分類 |
|-------|-------------------|
| 製造業 | 食料品製造業 |
| 製造業 | 飲料・たばこ・飼料製造業 |
| 製造業 | 繊維工業 |
| 製造業 | 木材・木製品製造業 (家具を除く) |
| 製造業 | 家具・装備品製造業 |
| 製造業 | パルプ・紙・紙加工品製造業 |
| 製造業 | 印刷・同関連業 |
| 製造業 | 化学工業 |
| 製造業 | 石油製品・石炭製品製造業 |
| 製造業 | プラスチック製品製造業 |
| 製造業 | ゴム製品製造業 |
| 製造業 | なめし革・同製品・毛皮製造業 |
| 製造業 | 窯業・土石製品製造業 |
| 製造業 | 鉄鋼業 |
| 製造業 | 非鉄金属製造業 |
| 製造業 | 金属製品製造業 |
| 製造業 | はん用機械器具製造業 |
| 製造業 | 生産用機械器具製造業 |
| 製造業 | 業務用機械器具製造業 |
| 製造業 | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 |
| 製造業 | 電気機械器具製造業 |
| 製造業 | 情報通信機械器具製造業 |
| 製造業 | 輸送用機械器具製造業 |
| 製造業 | その他の製造業 |
| 情報通信業 | 通信業 |
| 情報通信業 | 放送業 |
| 情報通信業 | 情報サービス業 |
| 情報通信業 | インターネット付随サービス業 |
| 情報通信業 | 映像・音声・文字情報制作業 |
| 卸売業 | 各種商品卸売業 |
| 卸売業 | 繊維・衣服等卸売業 |
| 卸売業 | 飲食料品卸売業 |
| 卸売業 | 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 |
| 卸売業 | 機械器具卸売業 |
| 卸売業 | その他の卸売業 |
| 小売業 | 各種商品小売業 |
| 小売業 | 織物・衣服・身の回り品小売業 |
| 小売業 | 飲食料品小売業 |
| 小売業 | 機械器具小売業 |
| 小売業 | その他の小売業 |
| 小売業 | 無店舗小売業 |
| 宿泊業 | 宿泊業 |
| その他 | その他 |

3. 所在地

| 所在地又は住所 |
|------------|
| 和歌山県 和歌山市 |
| 和歌山県 海南市 |
| 和歌山県 橋本市 |
| 和歌山県 有田市 |
| 和歌山県 御坊市 |
| 和歌山県 田辺市 |
| 和歌山県 新宮市 |
| 和歌山県 紀の川市 |
| 和歌山県 岩出市 |
| 和歌山県 紀美野町 |
| 和歌山県 かつらぎ町 |
| 和歌山県 九度山町 |
| 和歌山県 高野町 |
| 和歌山県 湯浅町 |
| 和歌山県 広川町 |
| 和歌山県 有田川町 |
| 和歌山県 美浜町 |
| 和歌山県 日高町 |
| 和歌山県 由良町 |
| 和歌山県 印南町 |
| 和歌山県 みなべ町 |
| 和歌山県 日高川町 |
| 和歌山県 白浜町 |
| 和歌山県 上富田町 |
| 和歌山県 すさみ町 |
| 和歌山県 那智勝浦町 |
| 和歌山県 太地町 |
| 和歌山県 古座川町 |
| 和歌山県 北山村 |
| 和歌山県 串本町 |
| その他 |

4. 年商

| 年商 | 参考 |
|-------------------|-------------------------------------|
| 300万円未満 | 経済センサス「表II-4 産業大分類売上高階級別企業等数」の区分を適用 |
| 300万円～1,000万円未満 | |
| 1,000万円～3,000万円未満 | |
| 3,000万円～1億円未満 | |
| 1億円～5億円未満 | |
| 5億円～10億円未満 | |
| 10億円～30億円未満 | 独自区分 |
| 30億円～50億円未満 | |
| 50億円～100億円未満 | |
| 100億円以上 | |

5. 従業員数

※経済センサス区分を適用

| 従業員数 |
|------------|
| 1～4人 |
| 5～9人 |
| 10～19人 |
| 20～29人 |
| 30～49人 |
| 50～99人 |
| 100～199人 |
| 200～299人 |
| 300人以上 |
| 出向・派遣従事者のみ |

6. IT費用

※JUIS：日本情報システム・ユーザー協会の「企業IT動向調査」を参考に、年商マスタの1%を目安に設定

| IT費用 |
|-------------------|
| 0～3万円未満 |
| 3万円～10万円未満 |
| 10万円～30万円未満 |
| 30万円～100万円未満 |
| 100万円～500万円未満 |
| 500万円～1,000万円未満 |
| 1,000万円～3,000万円未満 |
| 3,000万円～5,000万円未満 |
| 5,000万円～1億円未満 |
| 1億円以上 |
| わからない |

デジタル経営診断により取得するデータ

| | |
|-----------|--------------|
| ID | |
| 事業者種別 | |
| 法人名/屋号 | 漢字 カナ |
| 法人番号 | |
| 主業種 | 大分類 中分類 |
| 事業主 氏名 | 漢字 カナ |
| 所在地または住所 | |
| 連絡先 担当者氏名 | 漢字 カナ |
| 連絡先 電話番号 | |
| メールアドレス | |
| 直近の年商 | |
| 従業員数 | |
| 年間のIT費用 | |
| 診断日時 | |
| 年度情報 | 年度 |
| | 回次 |
| | 初診断 |
| | 最終診断 平均対象 |
| 総合 | 得点 |
| | 満点 |
| | 全業平均 |
| | 業種別平均 |

| | | |
|--------------|----------|----------------------|
| 経営戦略 | 目指す姿の明確化 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | 経営戦略の策定 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | 経営計画の策定 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | ビジョンの共有 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | 経営指標の管理 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | カテゴリ集計 | 回答得点 |
| | | 回答満点 |
| | | 合計点 |
| | | 全業種平均 業種別平均 |
| | 組織体制と仕組み | 管理体制 |
| デジタル化の推進体制 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| 投資の意思決定 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| 情報セキュリティ体制 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| 情報セキュリティの仕組み | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| カテゴリ集計 | | 回答得点 |
| | | 回答満点 |
| | | 合計点 |
| | | 全業種平均 業種別平均 |

| | | |
|--------------|----------------|----------------------|
| デジタル人材育成 | デジタル人材の確保 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | デジタル人材の採用・育成計画 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | デジタルスキルの把握と活用 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | デジタル人材の育成制度 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | 採用計画と外部連携 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | カテゴリ集計 | 回答得点 |
| | | 回答満点 |
| | | 合計点 |
| | | 全業種平均 業種別平均 |
| | 新規事業創発 | 企業文化・組織風土 |
| 顧客の声の共有・活用 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| 先端技術情報の収集と活用 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| オープンイノベーション | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| デジタルマーケティング | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| カテゴリ集計 | | 回答得点 |
| | | 回答満点 |
| | | 合計点 |
| | | 全業種平均 業種別平均 |

| | | |
|------------|---------------|----------------------|
| デジタルツール | 情報の分析と活用 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | コスト削減・業務効率化 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | 最先端技術・ツールの活用 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | コミュニケーション方法 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | テレワークによる働き方改革 | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| | カテゴリ集計 | 回答得点 |
| | | 回答満点 |
| | | 合計点 |
| | | 全業種平均 業種別平均 |
| | 業務改革 | 人的資源管理のデジタル化 |
| 資産管理のデジタル化 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| 会計管理のデジタル化 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| 作業手順の標準化 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| ペーパーレス化 | | 回答番号 回答内容 回答得点 |
| カテゴリ集計 | | 回答得点 |
| | | 回答満点 |
| | | 合計点 |
| | | 全業種平均 業種別平均 |

2022年度診断の実施概要

- 実施期間 2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）
- 対象 和歌山県内に本社又は事業所を有する事業者（法人又は個人事業主）
 - ・地場産業分野（繊維・化学・機械金属・食品加工・家庭用品・情報通信）
 - ・観光分野（宿泊・小売・卸売）

■実施方法 デジタル経営診断サイト (<https://digital-wakayama.com>) でのオンライン診断
 ※2022年7月、県内の支援機関等を対象に診断項目の概要説明及び診断のデモンストレーションを実施

■診断回答数

| | |
|--------|--------|
| 全回答数 | 1,598先 |
| うち対象業種 | 1,449先 |
| *業種内訳 | |
| 製造業 | 434先 |
| 情報通信業 | 33先 |
| 卸売業 | 325先 |
| 小売業 | 618先 |
| 宿泊業 | 39先 |

DX推進は『デジタル経営診断』で現状把握から始めましょう!

■診断はオンラインで6つのカテゴリー30の設問に答えるだけ！
 自社のデジタル経営の現況を客観的に把握することができます。

■診断結果は即時にレーダーチャートで表示！診断結果は時系列で保存され、取組の進捗確認や社内での現状共有に活用できます！

診断結果画面のイメージ

総合得点340/600点
 2021年度全業種平均276点
 2021年度製造業平均276点

県内平均値との比較

経営戦略 合計点 60/100点
 (全業種平均54点 製造業平均54点)

経営戦略や計画の達成度を定量的に評価することは重要で、指標や目標値を設定し、進捗管理を行う仕組みづくりを行います。

目指す姿の明確化 ★★★

設問 自社が置かれている経営環境下で、将来の目指す姿(ビジョン)を掲げていますか？

回答 経営環境を分析したうえで、中期的な(3年～5年先の)目指す姿(ビジョン)を掲げている。

結果 C/C/A/B

事業環境の変化やトレンドを把握し、長期的(1年～3.0年)な目標で目指す姿(ビジョン)を掲げてみると、定量的(顧客にどのような価値を提供したいか)や定量的(売上高・利益率など)の両方から考えることも重要です。

経営戦略の策定 ★★★

設問 目指す姿の実現のために経営戦略を定めていますか？

回答 経営戦略とは、将来の目指す姿を達成するための方法のこと。

結果 設問 自社の強み・弱み、外部環境(市場動向や顧客ニーズなど)を把握したうえで、戦略を策定している。

結果 C/C/A/B

経営環境や顧客ニーズは日々変化していますので、定期的に経営戦略の改善・見直しを行います。

次のアクション検討に向けたコメント

ご利用方法は裏面をご確認ください

「令和4年度和歌山県デジタル経営診断実施・分析業務」は和歌山県からの委託を受け株式会社紀陽銀行が実施しています。
 株式会社紀陽銀行 営業支援部 ITコンサルティングデスク
 和歌山県和歌山市本町1丁目35番地
 E-mail digital-wakayama-info@kiyobank.co.jp
 ※お問い合わせへの対応は平日9時～17時となります。ご返信にお時間をいただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

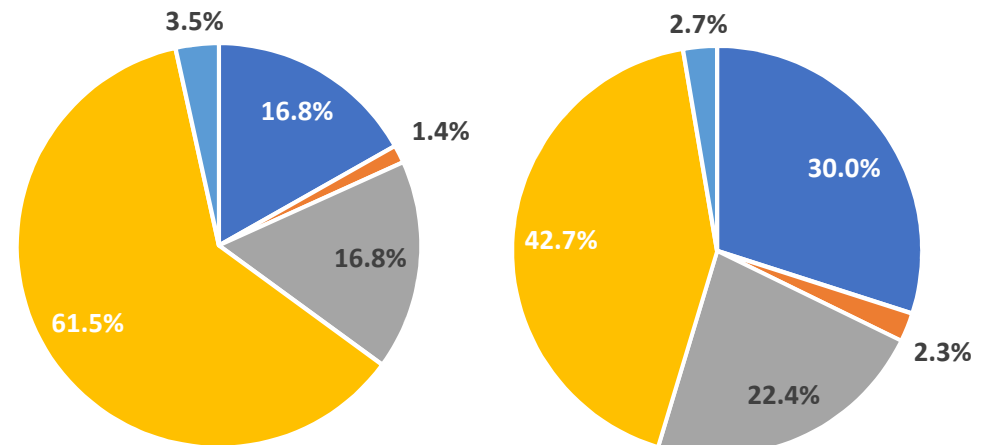
事業者の概要 ①業種区分

| 大分類 | 中分類 | 対象業種 | 経済センサス(H28)和歌山県民営事業所数 | 割合(%) | 2022年度診断先 | 割合(%) | 差異 |
|-------|-------------------|------|-----------------------|-------|-----------|-------|--------|
| 製造業 | 食料品製造業 | 1 | 740 | 4.3% | 144 | 9.9% | 5.4% |
| 製造業 | 飲料・たばこ・飼料製造業 | 1 | 62 | 0.4% | 7 | 0.5% | 0.1% |
| 製造業 | 繊維工業 | 1 | 624 | 3.6% | 63 | 4.3% | 0.5% |
| 製造業 | 木材・木製品製造業(家具を除く) | | 255 | | 12 | | |
| 製造業 | 家具・装備品製造業 | | 351 | | 2 | | |
| 製造業 | パルプ・紙・紙加工品製造業 | | 53 | | 2 | | |
| 製造業 | 印刷・同関連業 | | 203 | | 6 | | |
| 製造業 | 化学工業 | 1 | 121 | 0.7% | 24 | 1.7% | 0.9% |
| 製造業 | 石油製品・石炭製品製造業 | 1 | 22 | 0.1% | 4 | 0.3% | 0.1% |
| 製造業 | プラスチック製品製造業 | 1 | 149 | 0.9% | 37 | 2.6% | 1.6% |
| 製造業 | ゴム製品製造業 | 1 | 23 | 0.1% | 3 | 0.2% | 0.1% |
| 製造業 | なめし革・同製品・毛皮製造業 | 1 | 19 | 0.1% | 3 | 0.2% | 0.1% |
| 製造業 | 窯業・土石製品製造業 | 1 | 146 | 0.8% | 12 | 0.8% | -0.1% |
| 製造業 | 鉄鋼業 | 1 | 73 | 0.4% | 24 | 1.5% | 1.1% |
| 製造業 | 非鉄金属製造業 | 1 | 14 | 0.1% | 5 | 0.3% | 0.2% |
| 製造業 | 金属製品製造業 | 1 | 308 | 1.7% | 60 | 3.8% | 2.0% |
| 製造業 | はん用機械器具製造業 | 1 | 93 | 0.5% | 4 | 0.3% | -0.3% |
| 製造業 | 生産用機械器具製造業 | 1 | 200 | 1.1% | 18 | 1.1% | 0.0% |
| 製造業 | 業務用機械器具製造業 | 1 | 19 | 0.1% | 6 | 0.4% | 0.3% |
| 製造業 | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 1 | 16 | 0.1% | 6 | 0.4% | 0.3% |
| 製造業 | 電気機械器具製造業 | 1 | 53 | 0.3% | 10 | 0.6% | 0.3% |
| 製造業 | 情報通信機械器具製造業 | 1 | 7 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 製造業 | 輸送用機械器具製造業 | 1 | 73 | 0.4% | 4 | 0.3% | -0.2% |
| 製造業 | その他の製造業 | | 323 | | 36 | | |
| 情報通信業 | 通信業 | 1 | 26 | 0.2% | 2 | 0.1% | 0.0% |
| 情報通信業 | 放送業 | 1 | 16 | 0.1% | 1 | 0.1% | 0.0% |
| 情報通信業 | 情報サービス業 | 1 | 109 | 0.6% | 23 | 1.6% | 0.9% |
| 情報通信業 | インターネット付随サービス業 | 1 | 13 | 0.1% | 2 | 0.1% | 0.1% |
| 情報通信業 | 映像・音声・文字情報制作業 | 1 | 69 | 0.4% | 5 | 0.3% | -0.1% |
| 卸売業 | 各種商品卸売業 | 1 | 4 | 0.0% | 61 | 4.2% | 4.2% |
| 卸売業 | 繊維・衣服等卸売業 | 1 | 92 | 0.5% | 11 | 0.8% | 0.2% |
| 卸売業 | 飲食料品卸売業 | 1 | 774 | 4.5% | 80 | 5.5% | 0.8% |
| 卸売業 | 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 | 1 | 668 | 3.9% | 76 | 5.2% | 1.2% |
| 卸売業 | 機械器具卸売業 | 1 | 497 | 2.9% | 26 | 1.8% | -1.2% |
| 卸売業 | その他の卸売業 | 1 | 728 | 4.2% | 71 | 4.9% | 0.5% |
| 小売業 | 各種商品小売業 | 1 | 21 | 0.1% | 159 | 11.0% | 10.8% |
| 小売業 | 織物・衣服・身の回り品小売業 | 1 | 1,210 | 7.0% | 46 | 3.2% | -4.2% |
| 小売業 | 飲食料品小売業 | 1 | 3,120 | 18.0% | 100 | 6.9% | -12.1% |
| 小売業 | 機械器具小売業 | 1 | 1,526 | 8.8% | 58 | 4.0% | -5.3% |
| 小売業 | その他の小売業 | 1 | 3,986 | 23.1% | 237 | 16.4% | -7.9% |
| 小売業 | 無店舗小売業 | 1 | 241 | 1.4% | 18 | 1.2% | -0.2% |
| 宿泊業 | 宿泊業 | 1 | 567 | 3.3% | 39 | 2.7% | -0.8% |
| その他 | その他 | | - | | 91 | | |
| | 合計 | - | 17,614 | - | 1,598 | - | - |
| | 製造業(対象外を除く) | - | 2,762 | 16.8% | 434 | 30.0% | 13.1% |
| | 情報通信業 | - | 233 | 1.4% | 33 | 2.3% | 0.9% |
| | 卸売業 | - | 2,763 | 16.8% | 325 | 22.4% | 5.6% |
| | 小売業 | - | 10,104 | 61.5% | 618 | 42.7% | -18.9% |
| | 宿泊業 | - | 567 | 3.5% | 39 | 2.7% | -0.8% |
| | 対象業種 | - | 16,429 | 100% | 1,449 | 100% | - |

- 業種区分は「経済センサス」産業中分類を適用。
- 診断対象業種は「地場産業分野」と「観光分野」とし、産業中分類では左記37区分とした(網掛けは対象外)。
- 業種大分類の割合では、以下の通り経済センサスの県内民営事業所数の割合と比較し、製造業の割合が高く、小売業が占める割合が低い構成となった。

経済センサス(H28)
和歌山県民営事業所数
業種大分類割合

2022年度 診断先
(2023年3月31日現在)
業種大分類割合



■ 製造業(対象外を除く) ■ 情報通信業 ■ 卸売業 ■ 小売業 ■ 宿泊業

事業者の概要 ②所在地区分

■和歌山県内全域を対象に診断データの取得を行ったことから、診断を実施した事業者の所在地区分については経済センサスの和歌山県内民営事業所の割合と近似した構成となった。

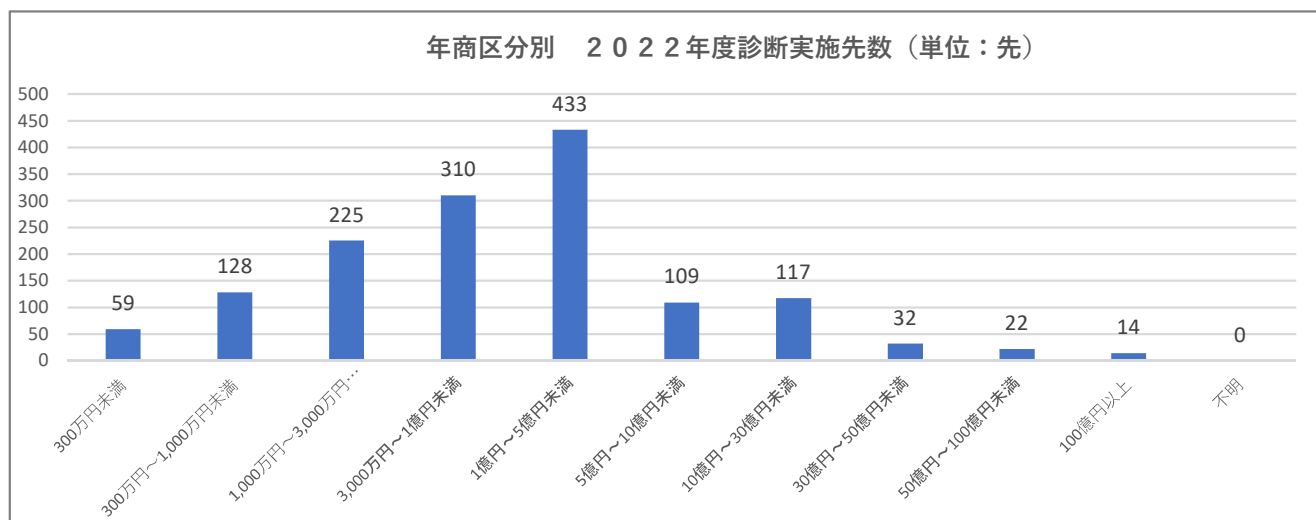
| | 所在地又は住所 | 経済センサス(R3)和歌山県民営事業所数 | | | | | 割合 (%) | 2022年度診断先 | | | | | | 割合 (%) | 差異 |
|----|------------|----------------------|-------------|---------------|-------------------------|---------------|---------------|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|---------------|---------------|-------|
| | | 製造業 | 情報通 信業 | 卸売業、 小売業 | 宿泊業、 飲食 サービス 業 | 計 | | 製造業 | 情報通 信業 | 卸売業 | 小売業 | 宿泊業 | 計 | | |
| 1 | 和歌山県 和歌山市 | 1,198 | 158 | 3,784 | 1,576 | 6,716 | 33.3% | 127 | 15 | 116 | 225 | 9 | 492 | 34.0% | 0.7% |
| 2 | 和歌山県 海南市 | 338 | 5 | 625 | 193 | 1,161 | 5.8% | 46 | 2 | 39 | 30 | 0 | 117 | 8.1% | 2.3% |
| 3 | 和歌山県 橋本市 | 279 | 10 | 549 | 248 | 1,086 | 5.4% | 25 | 1 | 11 | 37 | 0 | 74 | 5.1% | -0.3% |
| 4 | 和歌山県 有田市 | 116 | 2 | 392 | 119 | 629 | 3.1% | 11 | 0 | 7 | 12 | 1 | 31 | 2.1% | -1.0% |
| 5 | 和歌山県 御坊市 | 91 | 7 | 478 | 233 | 809 | 4.0% | 10 | 1 | 14 | 27 | 1 | 53 | 3.7% | -0.4% |
| 6 | 和歌山県 田辺市 | 305 | 27 | 1,164 | 658 | 2,154 | 10.7% | 36 | 7 | 31 | 64 | 5 | 143 | 9.9% | -0.8% |
| 7 | 和歌山県 新宮市 | 73 | 14 | 603 | 379 | 1,069 | 5.3% | 8 | 0 | 13 | 30 | 1 | 52 | 3.6% | -1.7% |
| 8 | 和歌山県 紀の川市 | 237 | 6 | 555 | 180 | 978 | 4.8% | 27 | 1 | 17 | 18 | 2 | 65 | 4.5% | -0.4% |
| 9 | 和歌山県 岩出市 | 81 | 6 | 371 | 191 | 649 | 3.2% | 8 | 1 | 13 | 25 | 0 | 47 | 3.2% | 0.0% |
| 10 | 和歌山県 紀美野町 | 70 | 1 | 127 | 33 | 231 | 1.1% | 7 | 0 | 4 | 10 | 0 | 21 | 1.4% | 0.3% |
| 11 | 和歌山県 かつらぎ町 | 91 | 2 | 175 | 73 | 341 | 1.7% | 15 | 0 | 4 | 12 | 1 | 32 | 2.2% | 0.5% |
| 12 | 和歌山県 九度山町 | 12 | - | 41 | 16 | 69 | 0.3% | 2 | 0 | 0 | 4 | 0 | 6 | 0.4% | 0.1% |
| 13 | 和歌山県 高野町 | 26 | 1 | 104 | 46 | 177 | 0.9% | 4 | 1 | 1 | 10 | 0 | 16 | 1.1% | 0.2% |
| 14 | 和歌山県 湯浅町 | 56 | 4 | 232 | 89 | 381 | 1.9% | 10 | 0 | 7 | 8 | 0 | 25 | 1.7% | -0.2% |
| 15 | 和歌山県 広川町 | 31 | - | 68 | 15 | 114 | 0.6% | 5 | 0 | 0 | 4 | 0 | 9 | 0.6% | 0.1% |
| 16 | 和歌山県 有田川町 | 92 | 3 | 376 | 156 | 627 | 3.1% | 12 | 0 | 16 | 27 | 0 | 55 | 3.8% | 0.7% |
| 17 | 和歌山県 美浜町 | 21 | 1 | 62 | 38 | 122 | 0.6% | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0.3% | -0.3% |
| 18 | 和歌山県 日高町 | 21 | - | 66 | 23 | 110 | 0.5% | 2 | 0 | 2 | 4 | 0 | 8 | 0.6% | 0.0% |
| 19 | 和歌山県 由良町 | 22 | - | 74 | 39 | 135 | 0.7% | 3 | 0 | 1 | 3 | 0 | 7 | 0.5% | -0.2% |
| 20 | 和歌山県 印南町 | 26 | 1 | 101 | 30 | 158 | 0.8% | 3 | 0 | 2 | 6 | 0 | 11 | 0.8% | 0.0% |
| 21 | 和歌山県 みなべ町 | 105 | 1 | 183 | 52 | 341 | 1.7% | 26 | 0 | 3 | 6 | 0 | 35 | 2.4% | 0.7% |
| 22 | 和歌山県 日高川町 | 36 | 1 | 71 | 39 | 147 | 0.7% | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 | 8 | 0.6% | -0.2% |
| 23 | 和歌山県 白浜町 | 57 | 6 | 209 | 258 | 530 | 2.6% | 14 | 2 | 5 | 23 | 11 | 55 | 3.8% | 1.2% |
| 24 | 和歌山県 上富田町 | 51 | - | 143 | 62 | 256 | 1.3% | 10 | 1 | 8 | 11 | 0 | 30 | 2.1% | 0.8% |
| 25 | 和歌山県 すさみ町 | 23 | 1 | 53 | 30 | 107 | 0.5% | 3 | 1 | 2 | 0 | 1 | 7 | 0.5% | 0.0% |
| 26 | 和歌山県 那智勝浦町 | 39 | 2 | 308 | 184 | 533 | 2.6% | 4 | 0 | 4 | 8 | 1 | 17 | 1.2% | -1.5% |
| 27 | 和歌山県 太地町 | 14 | 1 | 32 | 16 | 63 | 0.3% | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 4 | 0.3% | 0.0% |
| 28 | 和歌山県 古座川町 | 12 | - | 30 | 19 | 61 | 0.3% | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0.1% | -0.2% |
| 29 | 和歌山県 北山村 | 3 | - | 6 | 4 | 13 | 0.1% | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% | -0.1% |
| 30 | 和歌山県 串本町 | 38 | 4 | 242 | 122 | 406 | 2.0% | 5 | 0 | 3 | 8 | 3 | 19 | 1.3% | -0.7% |
| 31 | その他 | - | - | - | - | 0 | 0.0% | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0.3% | 0.3% |
| | | 3,564 | 264 | 11,224 | 5,121 | 20,173 | 100.0% | 434 | 33 | 325 | 618 | 39 | 1,449 | 100.0% | - |
| | | 17.7% | 1.3% | 55.6% | 25.4% | 100.0% | | 30.0% | 2.3% | 22.4% | 42.7% | 2.7% | 100.0% | | ^ |

※経済センサス（R3）和歌山県民営事業所数には「飲食サービス業」を含む。

事業者の概要 ③年商・IT費用区分

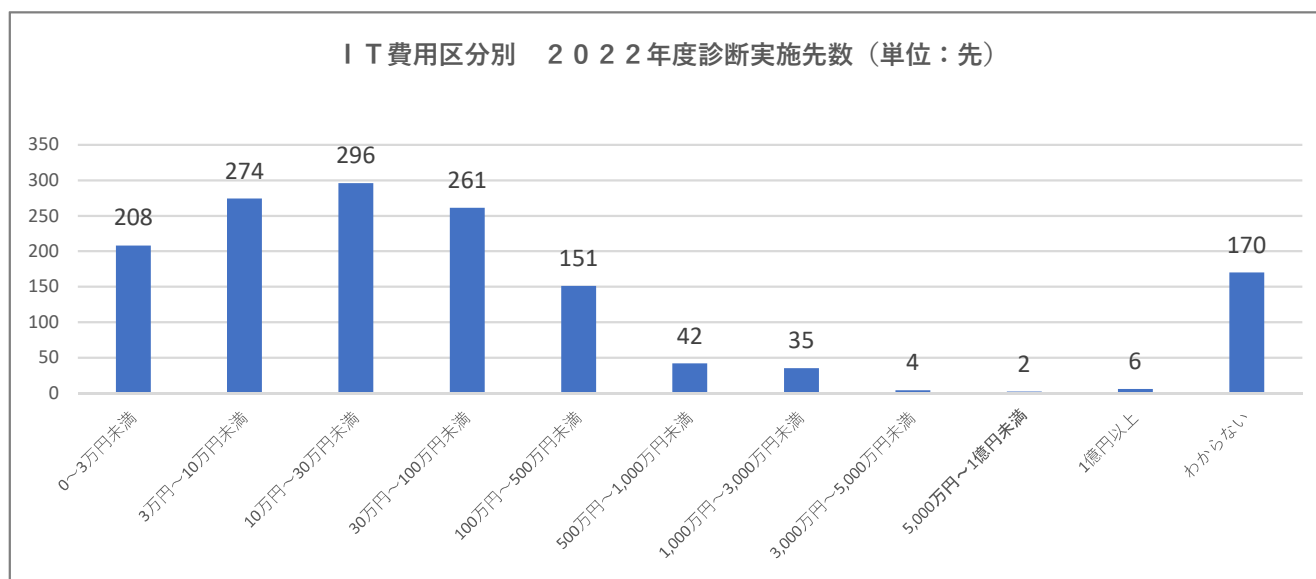
■事業者の年商区分については、以下の10区分で取得。IT費用の区分については、J U A S（日本情報システム・ユーザー協会）の「企業IT動向調査」において日本企業のIT費用は年商の1%程度（中央値）という調査結果があることから、各年商区分の1%を目安に設定した。

| 年商区分 | 2022年度 診断先数 | 割合 (%) |
|---------------------|----------------|---------------|
| 1 300万円未満 | 59 | 4.1% |
| 2 300万円～1,000万円未満 | 128 | 8.8% |
| 3 1,000万円～3,000万円未満 | 225 | 15.5% |
| 4 3,000万円～1億円未満 | 310 | 21.4% |
| 5 1億円～5億円未満 | 433 | 29.9% |
| 6 5億円～10億円未満 | 109 | 7.5% |
| 7 10億円～30億円未満 | 117 | 8.1% |
| 8 30億円～50億円未満 | 32 | 2.2% |
| 9 50億円～100億円未満 | 22 | 1.5% |
| 10 100億円以上 | 14 | 1.0% |
| 11 不明 | 0 | 0.0% |
| | 1,449 | 100.0% |



※各年商区分の1%を目安に設定

| 年間のIT費用区分 | 2022年度 診断先数 | 割合 (%) |
|---------------------|----------------|---------------|
| 1 0～3万円未満 | 208 | 14.4% |
| 2 3万円～10万円未満 | 274 | 18.9% |
| 3 10万円～30万円未満 | 296 | 20.4% |
| 4 30万円～100万円未満 | 261 | 18.0% |
| 5 100万円～500万円未満 | 151 | 10.4% |
| 6 500万円～1,000万円未満 | 42 | 2.9% |
| 7 1,000万円～3,000万円未満 | 35 | 2.4% |
| 8 3,000万円～5,000万円未満 | 4 | 0.3% |
| 9 5,000万円～1億円未満 | 2 | 0.1% |
| 10 1億円以上 | 6 | 0.4% |
| 11 わからない | 170 | 11.7% |
| | 1,449 | 100.0% |



年商とIT費用の区分について

■各年商区別にIT費用の区分を集計。下表によると、多くの事業者が年商区分の1%未満のIT費用区分に位置していることがわかる。また、自社の年間のIT費用が「わからない」と回答した経営者は170者（全体の11.7%）となっており、自社のIT費用について把握していない事業者も一定割合存在していることがわかった。

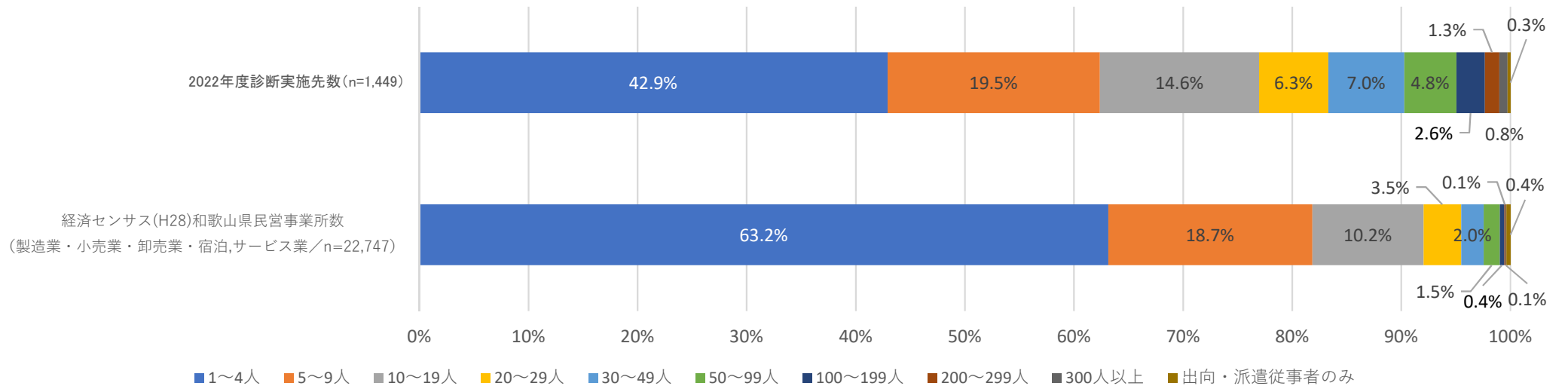
| | | 年間のIT費用 | | | | | | | | | | 総計 | (%) | |
|-----|-------------------|---------|------------|-------------|--------------|---------------|-----------------|-------------------|-------------------|---------------|-------|-------|--------|--------|
| | | 0~3万円未満 | 3万円~10万円未満 | 10万円~30万円未満 | 30万円~100万円未満 | 100万円~500万円未満 | 500万円~1,000万円未満 | 1,000万円~3,000万円未満 | 3,000万円~5,000万円未満 | 5,000万円~1億円未満 | 1億円以上 | | | わからない |
| 年商 | 300万円未満 | 26 | 16 | 9 | 2 | 2 | | | | | | 4 | 59 | 4.1% |
| | 300万円~1,000万円未満 | 34 | 44 | 25 | 13 | 3 | 1 | | | | | 8 | 128 | 8.8% |
| | 1,000万円~3,000万円未満 | 57 | 57 | 51 | 39 | 7 | 1 | 1 | | | | 12 | 225 | 15.5% |
| | 3,000万円~1億円未満 | 50 | 77 | 70 | 41 | 22 | 3 | 1 | | | | 46 | 310 | 21.4% |
| | 1億円~5億円未満 | 36 | 69 | 109 | 111 | 43 | 6 | 3 | 2 | | | 54 | 433 | 29.9% |
| | 5億円~10億円未満 | 3 | 6 | 21 | 30 | 24 | 6 | 3 | 1 | | 1 | 14 | 109 | 7.5% |
| | 10億円~30億円未満 | 2 | 5 | 10 | 22 | 37 | 11 | 10 | 1 | | 3 | 16 | 117 | 8.1% |
| | 30億円~50億円未満 | | | 1 | 2 | 6 | 10 | 3 | | | | 10 | 32 | 2.2% |
| | 50億円~100億円未満 | | | | 1 | 5 | 3 | 11 | | 1 | | 1 | 22 | 1.5% |
| | 100億円以上 | | | | | 2 | 1 | 3 | | 1 | 2 | 5 | 14 | 1.0% |
| 総計 | | 208 | 274 | 296 | 261 | 151 | 42 | 35 | 4 | 2 | 6 | 170 | 1,449 | 100.0% |
| (%) | | 14.4% | 18.9% | 20.4% | 18.0% | 10.4% | 2.9% | 2.4% | 0.3% | 0.1% | 0.4% | 11.7% | 100.0% | |

事業者の概要 ④従業員数区分

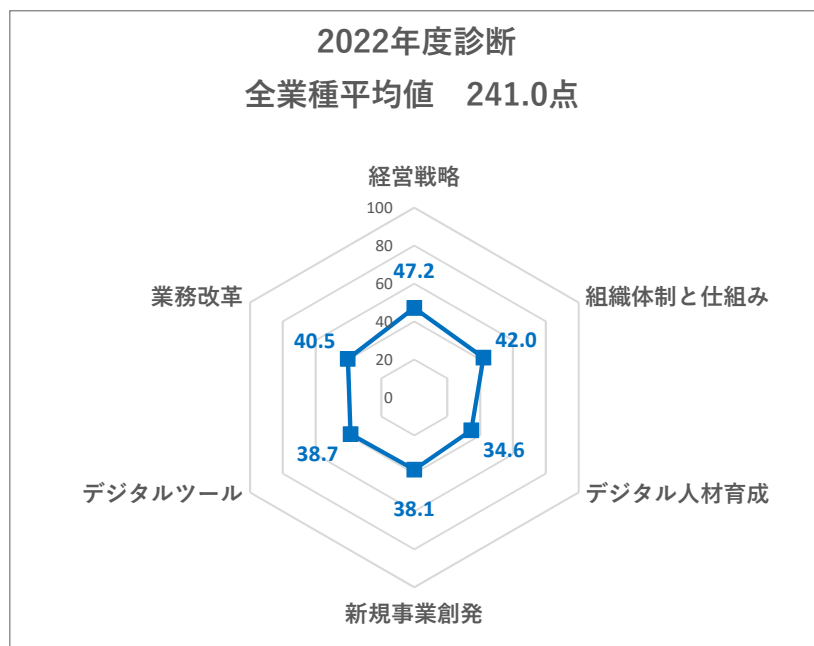
| 従業員数 | 経済センサス(H28)和歌山県 民営事業所数 (製造業・小 売業・卸売 業・宿泊、サー ビス業) | 割合 (%) | 2022年度診 断実施先数 | 割合 (%) | 差異 (%) |
|---------------|---|-----------|------------------|-----------|-----------|
| 1 1～4人 | 14,365 | 63.2% | 622 | 42.9% | -20.2% |
| 2 5～9人 | 4,248 | 18.7% | 282 | 19.5% | 0.8% |
| 3 10～19人 | 2,321 | 10.2% | 211 | 14.6% | 4.4% |
| 4 20～29人 | 786 | 3.5% | 92 | 6.3% | 2.9% |
| 5 30～49人 | 466 | 2.0% | 101 | 7.0% | 4.9% |
| 6 50～99人 | 336 | 1.5% | 69 | 4.8% | 3.3% |
| 7 100～199人 | 94 | 0.4% | 38 | 2.6% | 2.2% |
| 8 200～299人 | 26 | 0.1% | 19 | 1.3% | 1.2% |
| 9 300人以上 | 15 | 0.1% | 11 | 0.8% | 0.7% |
| 10 出向・派遣従事者のみ | 90 | 0.4% | 4 | 0.3% | -0.1% |
| | 22,747 | 100.0% | 1,449 | 100.0% | - |

■従業員数の区分については左記の10区分を適用。経済センサスの県内民営事業所数の割合と比較すると、試験診断先の方が比較的、従業員数が多い事業者の割合が高い構成となった。

2022年度 従業者数区分の割合



全事業者の平均得点

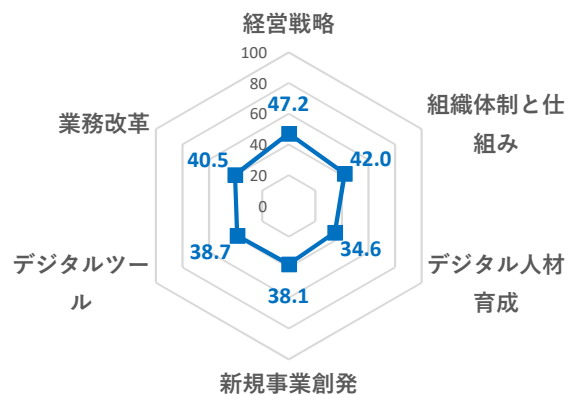


| | 平均点 | 最高点 | 最低点 |
|------------|-------|-----|-----|
| 1 経営戦略 | 47.2 | 100 | 20 |
| 2 組織体制と仕組み | 42.0 | 100 | 20 |
| 3 デジタル人材育成 | 34.6 | 100 | 20 |
| 4 新規事業創発 | 38.1 | 100 | 20 |
| 5 デジタルツール | 38.7 | 100 | 20 |
| 6 業務改革 | 40.5 | 100 | 20 |
| 総合得点 | 241.0 | 600 | 120 |

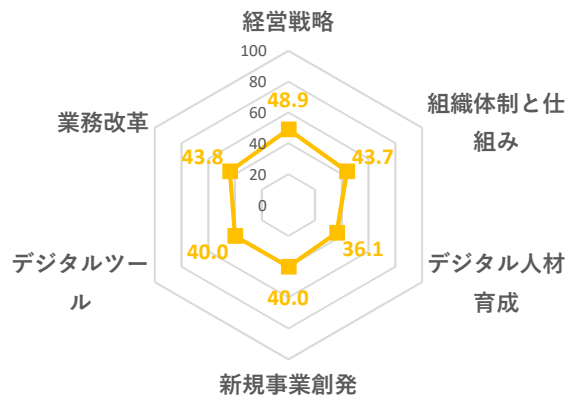
| カテゴリ | 質問番号 | 項目 | 各設問の平均得点 (5点満点) | カテゴリ平均得点 (100点満点) |
|----------|------|----------------|-----------------|-------------------|
| 経営戦略 | 1 | 目指す姿の明確化 | 2.4 | 47.2 |
| | 2 | 経営戦略の策定 | 2.5 | |
| | 3 | 経営計画の策定 | 2.2 | |
| | 4 | ビジョンの共有 | 2.5 | |
| | 5 | 経営指標の管理 | 2.1 | |
| 組織体制と仕組み | 6 | 管理体制 | 2.7 | 42.0 |
| | 7 | デジタル化の推進体制 | 2.0 | |
| | 8 | 投資の意思決定 | 1.8 | |
| | 9 | 情報セキュリティ体制 | 1.9 | |
| | 10 | 情報セキュリティの仕組み | 2.1 | |
| デジタル人材育成 | 11 | デジタル人材の確保 | 2.1 | 34.6 |
| | 12 | デジタル人材の採用・育成計画 | 1.5 | |
| | 13 | デジタルスキルの把握と活用 | 1.7 | |
| | 14 | デジタル人材の育成制度 | 1.7 | |
| | 15 | 採用計画と外部連携 | 1.8 | |
| 新規事業創発 | 16 | 企業文化・組織風土 | 2.2 | 38.1 |
| | 17 | 顧客の声の共有・活用 | 2.1 | |
| | 18 | 先端技術情報の収集と活用 | 1.9 | |
| | 19 | オープンイノベーション | 1.6 | |
| | 20 | デジタルマーケティング | 1.8 | |
| デジタルツール | 21 | 情報の分析と活用 | 2.1 | 38.7 |
| | 22 | コスト削減・業務効率化 | 2.1 | |
| | 23 | 最先端技術・ツールの活用 | 1.8 | |
| | 24 | コミュニケーション方法 | 2.1 | |
| | 25 | テレワークによる働き方改革 | 1.6 | |
| 業務改革 | 26 | 人的資源管理のデジタル化 | 1.7 | 40.5 |
| | 27 | 資産管理のデジタル化 | 1.9 | |
| | 28 | 会計管理のデジタル化 | 2.5 | |
| | 29 | 作業手順の標準化 | 1.9 | |
| | 30 | ペーパーレス化 | 2.2 | |
| 総合得点 | | | | 241.0 |

業種別の平均得点

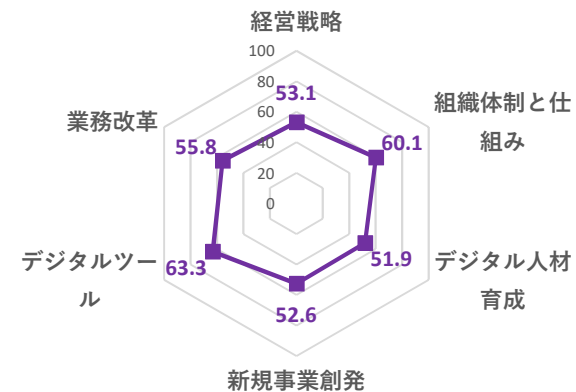
全業種平均値 241.0点
n=1,449



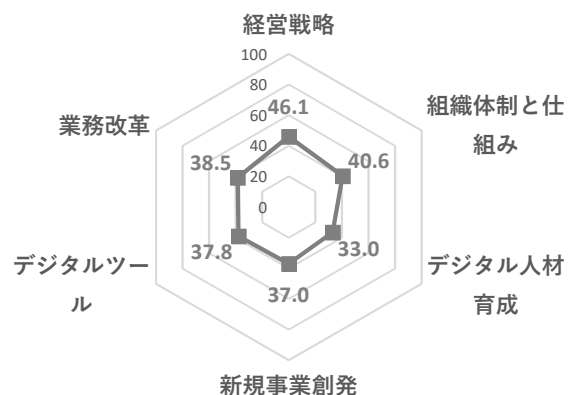
製造業平均値 252.6点
n=434



情報通信業平均値 336.7点
n=33



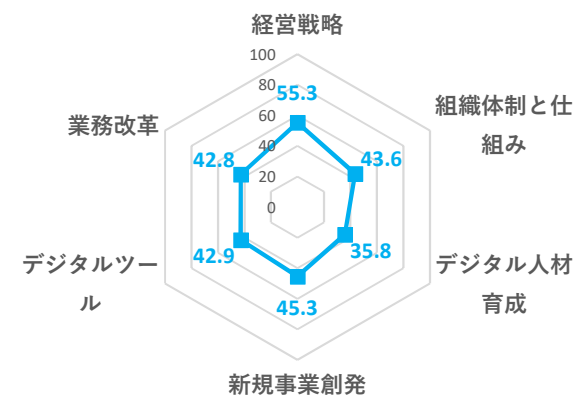
小売業平均値 233.0点
n=618



卸売業平均値 228.2点
n=325



宿泊業平均値 265.6点
n=39

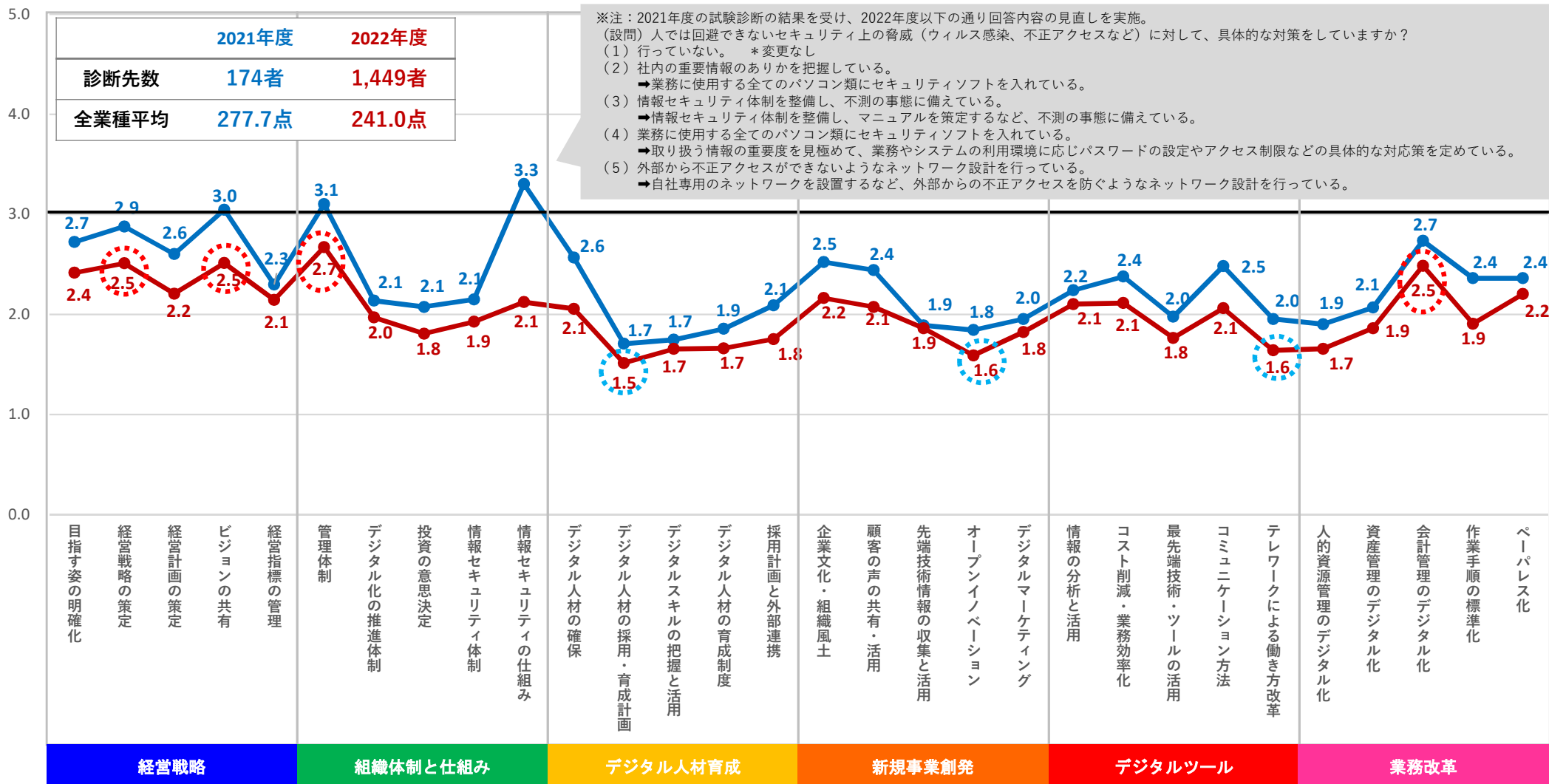


各設問の平均得点

■全事業者の平均得点は、多くの項目で標準とする「3」に達していないのが現状である。カテゴリ別で見ると、経営戦略や経営計画の策定状況、経営者のビジョンの浸透度合い、組織の成熟度や体制・仕組みの構築状況などを問う「経営戦略」「組織体制と仕組み」については、他カテゴリよりも比較的得点が高かった。一方、デジタル人材育成、新規事業創発、デジタルツール、業務改革については標準に達している項目がなく、課題が見える結果となった。

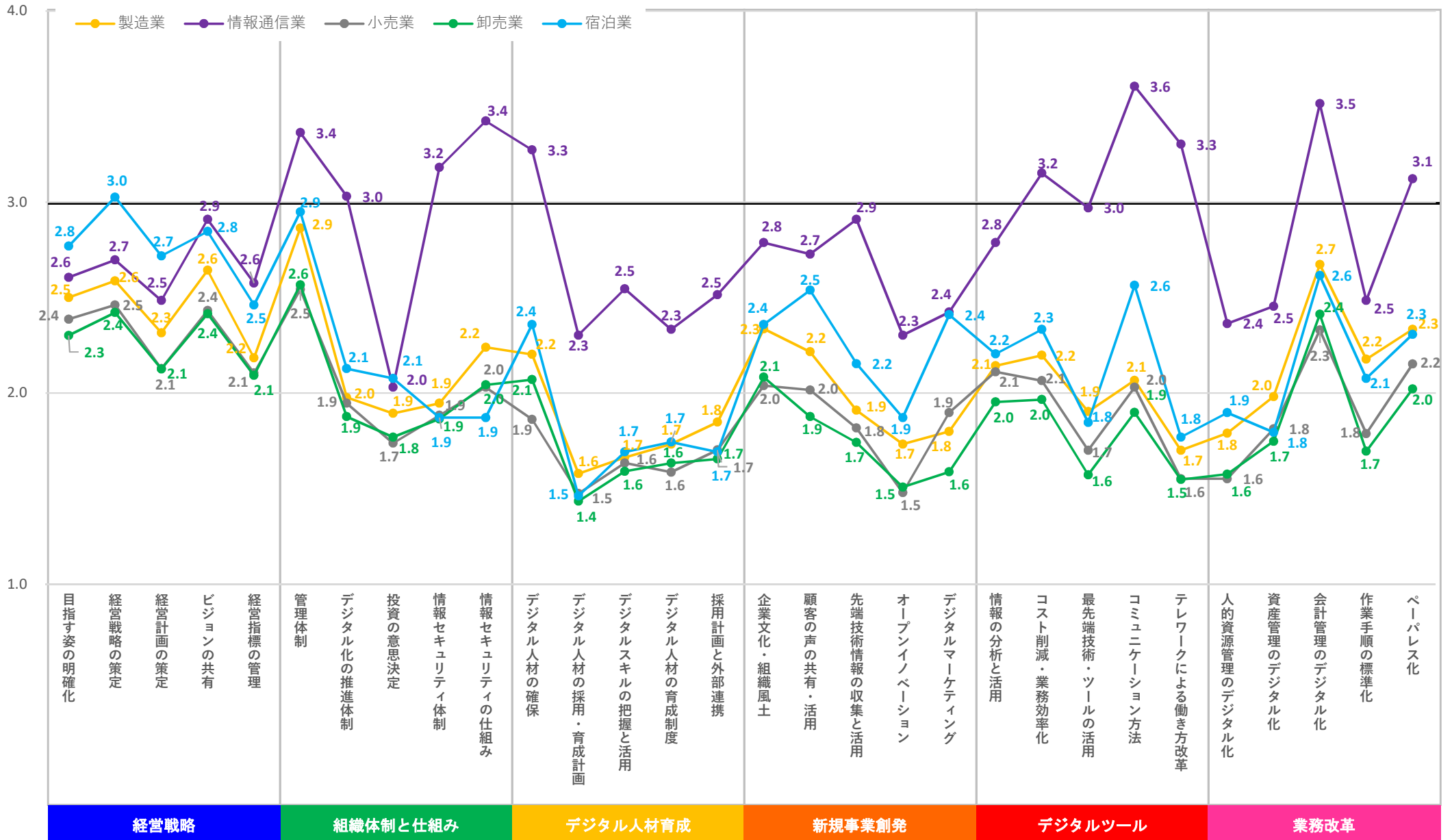
各設問の平均得点

● 2021年度試験診断平均 ● 2022年度診断平均



業種別 各設問の平均得点

■業種別の平均得点では、情報通信業が突出して高得点となった。宿泊・製造・小売・卸売は全体として同じ傾向を示しており、宿泊業が相対的に得点が高い。他と比較すると宿泊業では「新規事業創発」「デジタルツール」の取組が進んでいることがわかる一方、情報セキュリティの取組は進んでおらず、対策が求められる。製造業・小売業・卸売業では、製造業が若干平均値が高いが、3業種ともすべての項目で標準の「3」にとどいていない状況である。



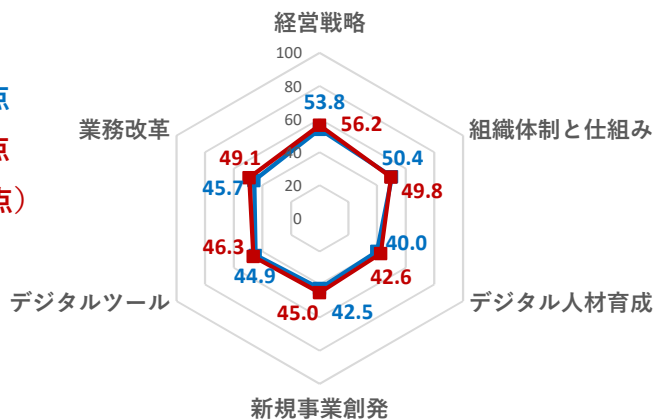
継続診断先の平均値比較

総合得点

2021年度平均 277.2点

2022年度平均 289.0点

(+11.8点)

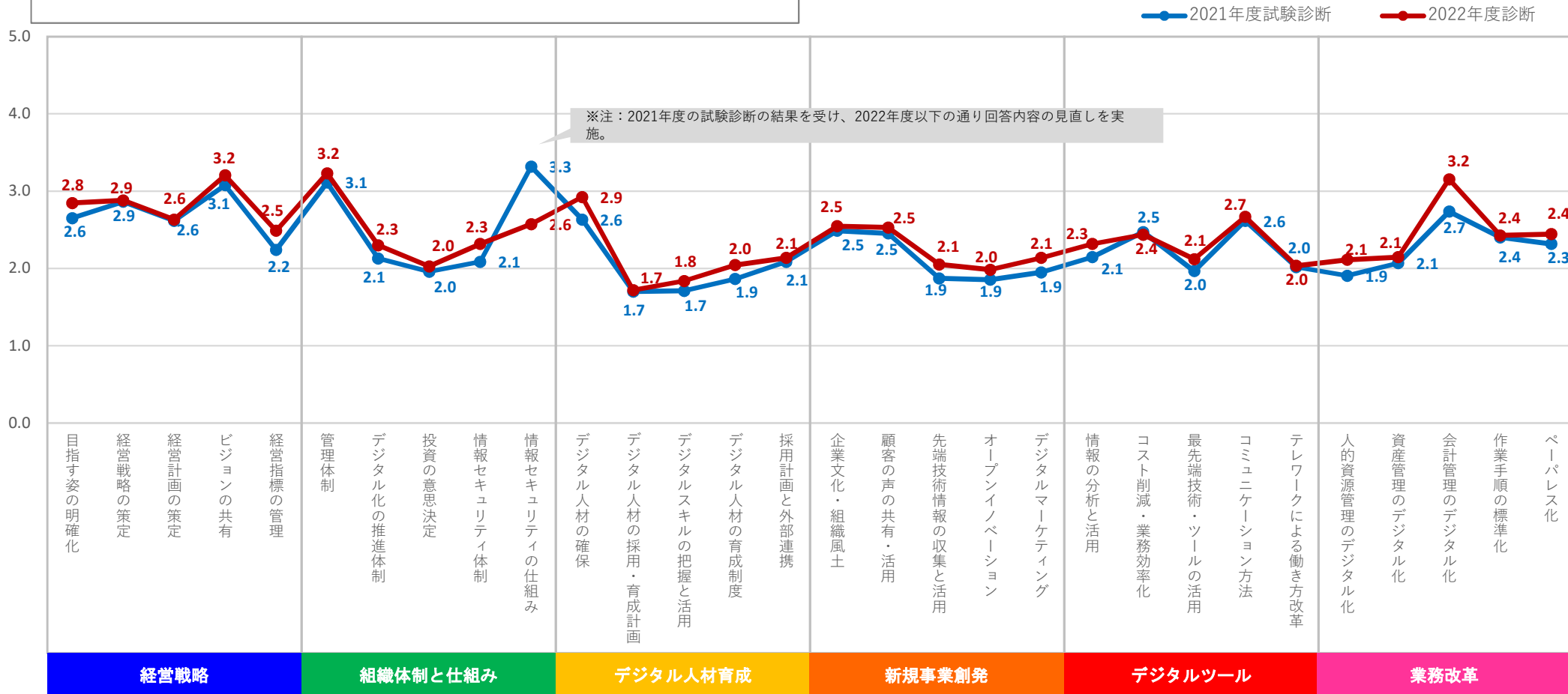


■ 2021年度に試験診断を行った174先のうち、2022年度にも継続して診断を行った事業者は117先であった。

■ 継続診断先のみ抽出して経年比較すると、総合得点は11.8ポイント改善しており、

主に以下の項目で改善が見られた。

- ・ 会計業務のデジタル化 +0.4ポイント
- ・ デジタル人材の確保 +0.3ポイント



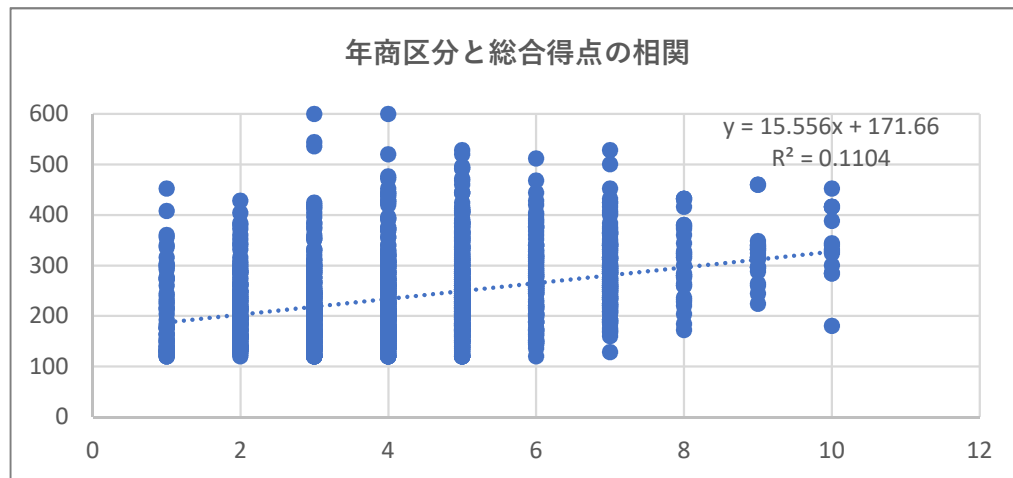
年商区分・従業員数区分別平均得点／規模と総合得点の相関について

■年商区分・従業員数区分と総合得点の相関を分析したところ、規模が大きくなるほど総合得点が高くなる傾向が見えた。また、従業員数よりも年商の方が若干ではあるが、相関が高いことがわかった。年商が1億円以上、従業員数が10人以上の区分においては、総合得点の平均が全事業者の平均得点241点を上回る結果となった。

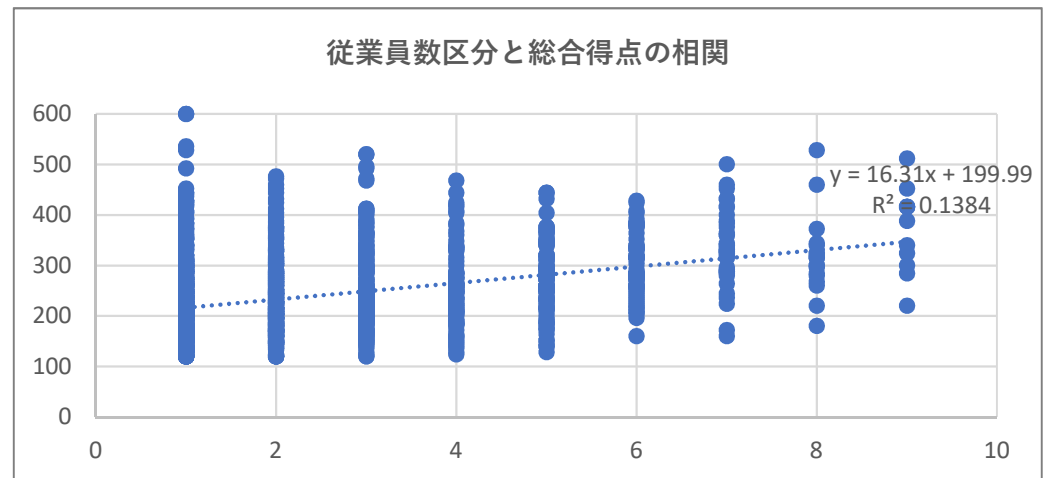
| 年商区分 | 回答事業者数 | 総合得点 | 経営戦略 | 組織体制と仕組み | デジタル人材育成 | 新規事業創発 | デジタルツール | 業務改革 |
|---------------------|--------|-------|------|----------|----------|--------|---------|------|
| 1 300万円未満 | 59 | 207.9 | 37.5 | 35.4 | 30.2 | 35.3 | 35.2 | 34.3 |
| 2 300万円～1,000万円未満 | 128 | 211.2 | 43.3 | 35.8 | 30.5 | 35.0 | 33.6 | 33.0 |
| 3 1,000万円～3,000万円未満 | 225 | 213.9 | 41.5 | 37.6 | 31.0 | 35.0 | 33.2 | 35.6 |
| 4 3,000万円～1億円未満 | 310 | 226.4 | 44.5 | 39.4 | 31.9 | 36.6 | 36.2 | 37.8 |
| 5 1億円～5億円未満 | 433 | 249.2 | 48.5 | 44.2 | 35.7 | 38.7 | 39.2 | 42.8 |
| 6 5億円～10億円未満 | 109 | 264.0 | 51.3 | 44.8 | 38.5 | 40.6 | 43.5 | 45.2 |
| 7 10億円～30億円未満 | 117 | 285.1 | 56.4 | 49.5 | 41.3 | 42.8 | 47.4 | 47.7 |
| 8 30億円～50億円未満 | 32 | 306.6 | 60.5 | 53.1 | 44.1 | 46.0 | 51.6 | 51.3 |
| 9 50億円～100億円未満 | 22 | 319.6 | 63.8 | 55.8 | 44.9 | 44.4 | 57.6 | 53.1 |
| 10 100億円以上 | 14 | 343.1 | 67.1 | 56.3 | 46.9 | 50.9 | 65.4 | 56.6 |
| 11 | 1,449 | 241.0 | 47.2 | 42.0 | 34.6 | 38.1 | 38.7 | 40.5 |

| 従業員数区分 | 回答事業者数 | 総合得点 | 経営戦略 | 組織体制と仕組み | デジタル人材育成 | 新規事業創発 | デジタルツール | 業務改革 |
|---------------|--------|-------|------|----------|----------|--------|---------|------|
| 1 1～4人 | 622 | 217.4 | 42.2 | 38.2 | 31.4 | 35.2 | 34.4 | 36.0 |
| 2 5～9人 | 282 | 230.7 | 45.1 | 41.0 | 33.3 | 36.8 | 36.1 | 38.3 |
| 3 10～19人 | 211 | 252.8 | 49.6 | 43.6 | 36.1 | 39.4 | 40.5 | 43.5 |
| 4 20～29人 | 92 | 255.5 | 52.6 | 44.0 | 35.9 | 40.1 | 39.7 | 43.2 |
| 5 30～49人 | 101 | 273.5 | 53.7 | 46.6 | 38.3 | 41.4 | 46.3 | 47.1 |
| 6 50～99人 | 69 | 298.2 | 57.5 | 50.8 | 43.4 | 43.9 | 51.2 | 51.4 |
| 7 100～199人 | 38 | 333.7 | 66.1 | 60.1 | 46.9 | 50.2 | 55.7 | 54.6 |
| 8 200～299人 | 19 | 317.3 | 59.4 | 49.1 | 46.9 | 50.5 | 57.7 | 53.7 |
| 9 300人以上 | 11 | 369.8 | 75.6 | 64.4 | 48.4 | 57.1 | 66.2 | 58.2 |
| 10 出向・派遣従事者のみ | 4 | 296.0 | 48.0 | 46.0 | 45.0 | 48.0 | 50.0 | 59.0 |
| 11 | 1,449 | 241.0 | 47.2 | 42.0 | 34.6 | 38.1 | 38.7 | 40.5 |

年商区分と総合得点の相関係数 0.33

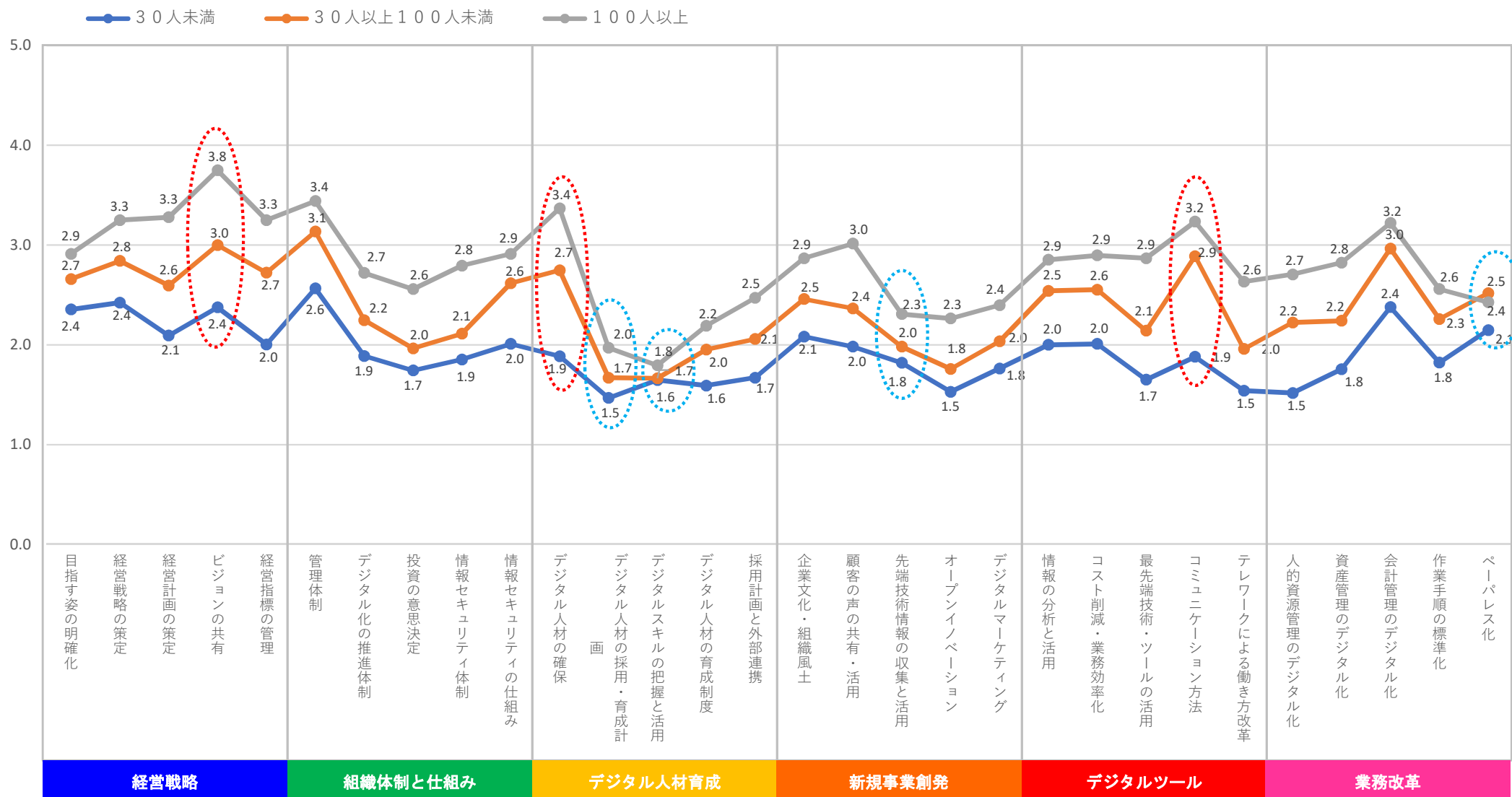


従業員数区分と総合得点の相関係数 0.37



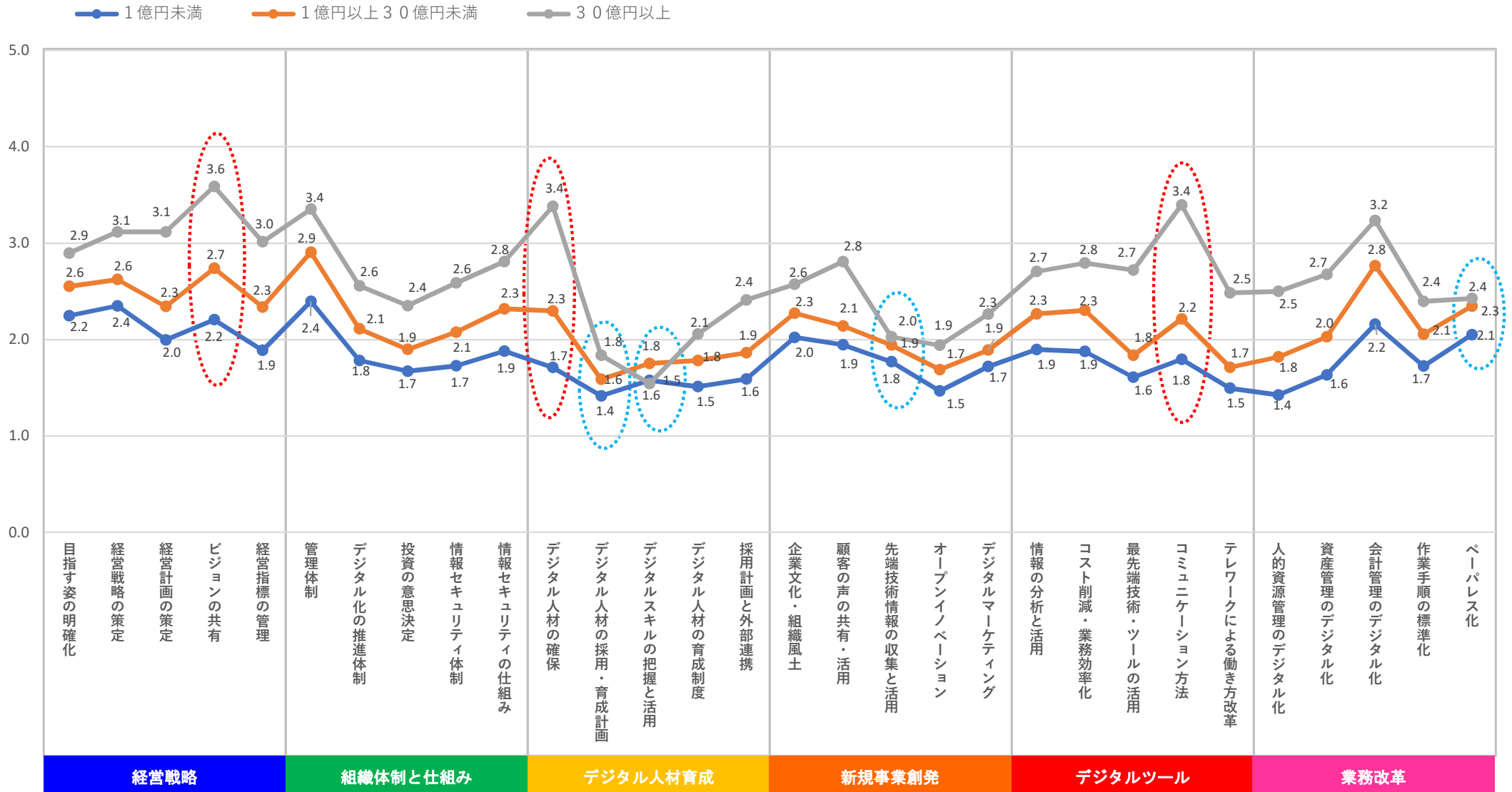
従業員数規模別 各設問の平均得点

■従業員数区分を「30人未満 (n=1,211)」「30人以上100人未満 (n=170)」「100人以上 (n=68)」の3区分で分類し、各設問の平均得点を集計した。規模による差が大きく出た項目は、「ビジョンの共有」「デジタル人材の確保」「コミュニケーション方法」などである。一方、「デジタル人材の採用・育成計画」「デジタルスキルの把握と活用」「先端技術の収集と活用」「ペーパーレス化」などの項目では従業員数規模による差はあまり見られなかった。



年商規模別 各設問の平均得点

■年商区分を「1億円未満 (n=722)」「1億円～30億円未満 (n=659)」「30億円以上 (n=68)」の3区分で分類し、各設問の平均得点を集計。
概ね、前頁の従業員数区分別と同様の傾向が見られた。



業種区分別 平均得点

■業種区分別の平均得点を算出（回答数の少ない区分もあるため参考資料としてご覧ください）。情報通信業は概ね上位に位置。一定の回答数があり上位に位置している「化学工業」「宿泊業」などについては、業界全体のデジタル化が進んでいることがうかがえる。一定の回答数があり下位に位置している業種は、デジタル化に向けて業界全体で取り組むべき課題を抱えている可能性がある。

| 業種区分 | 事業者数 | 総合得点 | 評価項目 | | | | | | |
|---------------------|-------|-------|------|----------|----------|--------|---------|------|--|
| | | | 経営戦略 | 組織体制と仕組み | デジタル人材育成 | 新規事業創発 | デジタルツール | 業務改革 | |
| 1 インターネット付随サービス業 | 2 | 506.0 | 88.0 | 82.0 | 78.0 | 88.0 | 90.0 | 80.0 | |
| 2 通信業 | 2 | 404.0 | 74.0 | 60.0 | 58.0 | 54.0 | 86.0 | 72.0 | |
| 3 映像・音声・文字情報制作業 | 5 | 344.0 | 43.2 | 56.8 | 52.8 | 60.8 | 70.4 | 60.0 | |
| 4 飲料・たばこ・飼料製造業 | 7 | 333.7 | 63.4 | 57.7 | 44.0 | 54.9 | 56.6 | 57.1 | |
| 5 情報サービス業 | 23 | 319.8 | 51.1 | 59.5 | 49.9 | 48.7 | 58.4 | 52.2 | |
| 6 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 6 | 316.7 | 58.7 | 60.0 | 46.0 | 44.0 | 53.3 | 54.7 | |
| 7 化学工業 | 24 | 312.8 | 63.8 | 53.8 | 43.8 | 49.8 | 48.2 | 53.3 | |
| 8 業務用機械器具製造業 | 6 | 302.0 | 57.3 | 47.3 | 44.7 | 50.0 | 51.3 | 51.3 | |
| 9 無店舗小売業 | 18 | 294.9 | 53.3 | 46.2 | 40.0 | 47.3 | 58.2 | 49.8 | |
| 10 輸送用機械器具製造業 | 4 | 294.0 | 59.0 | 56.0 | 38.0 | 45.0 | 45.0 | 51.0 | |
| 11 電気機械器具製造業 | 10 | 290.4 | 57.2 | 45.6 | 39.6 | 39.6 | 52.8 | 55.6 | |
| 12 非鉄金属製造業 | 5 | 275.2 | 54.4 | 46.4 | 40.8 | 47.2 | 37.6 | 48.8 | |
| 13 宿泊業 | 39 | 265.6 | 55.3 | 43.6 | 35.8 | 45.3 | 42.9 | 42.8 | |
| 14 生産用機械器具製造業 | 18 | 263.3 | 49.1 | 47.6 | 38.7 | 41.6 | 41.8 | 44.7 | |
| 15 食料品製造業 | 144 | 253.2 | 48.0 | 42.9 | 36.4 | 42.4 | 40.7 | 42.9 | |
| 16 機械器具卸売業 | 26 | 251.2 | 51.1 | 45.5 | 37.1 | 38.9 | 40.0 | 38.6 | |
| 17 織物・衣服・身の回り品小売業 | 46 | 248.2 | 49.1 | 42.9 | 34.9 | 40.0 | 40.1 | 41.2 | |
| 18 はん用機械器具製造業 | 4 | 247.0 | 45.0 | 41.0 | 40.0 | 39.0 | 38.0 | 44.0 | |
| 19 金属製品製造業 | 60 | 246.6 | 47.1 | 44.3 | 34.8 | 37.3 | 38.9 | 44.3 | |
| 20 飲食料品小売業 | 100 | 244.7 | 50.4 | 42.0 | 34.4 | 39.8 | 39.6 | 4.0 | |
| 21 石油製品・石炭製品製造業 | 4 | 240.0 | 44.0 | 44.0 | 33.0 | 39.0 | 38.0 | 42.0 | |
| 22 プラスチック製品製造業 | 37 | 239.0 | 44.9 | 40.6 | 31.4 | 39.1 | 39.8 | 43.2 | |
| 23 窯業・土石製品製造業 | 12 | 237.3 | 45.3 | 39.7 | 36.3 | 33.3 | 37.0 | 45.7 | |
| 24 繊維工業 | 63 | 234.7 | 49.1 | 41.1 | 35.4 | 35.4 | 35.0 | 38.7 | |
| 25 各種商品卸売業 | 61 | 234.1 | 44.3 | 40.3 | 33.9 | 38.2 | 37.5 | 39.9 | |
| 26 その他の卸売業 | 71 | 230.0 | 46.4 | 41.6 | 33.4 | 34.9 | 35.1 | 38.5 | |
| 27 各種商品小売業 | 159 | 229.4 | 46.1 | 40.2 | 31.4 | 36.4 | 36.8 | 38.5 | |
| 28 機械器具小売業 | 58 | 227.6 | 43.4 | 41.9 | 32.5 | 34.2 | 37.9 | 37.7 | |
| 29 その他の小売業 | 237 | 224.2 | 43.7 | 39.0 | 32.8 | 35.6 | 35.8 | 37.4 | |
| 30 飲食料品卸売業 | 80 | 223.9 | 44.5 | 39.9 | 33.3 | 34.9 | 35.3 | 36.1 | |
| 31 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 | 76 | 220.0 | 44.3 | 38.9 | 32.9 | 31.9 | 34.5 | 37.4 | |
| 32 繊維・衣服等卸売業 | 11 | 217.5 | 46.2 | 37.8 | 29.8 | 36.4 | 32.4 | 34.9 | |
| 33 放送業 | 1 | 216.0 | 36.0 | 48.0 | 28.0 | 28.0 | 40.0 | 36.0 | |
| 34 なめし革・同製品・毛皮製造業 | 3 | 209.3 | 50.7 | 40.0 | 22.7 | 34.7 | 28.0 | 33.3 | |
| 35 鉄鋼業 | 24 | 208.0 | 38.7 | 37.8 | 30.0 | 30.2 | 32.0 | 39.3 | |
| 36 ゴム製品製造業 | 3 | 185.3 | 41.3 | 28.0 | 26.7 | 30.7 | 29.3 | 29.3 | |
| 37 情報通信機械器具製造業 | 0 | | | | | | | | |
| 合計及び平均値 | 1,449 | 241.0 | 4.0 | 42.0 | 34.6 | 38.1 | 38.7 | 40.5 | |

全業種平均以上

※各カテゴリーの平均得点を上回る得点区分を朱塗り

カテゴリ 1 経営戦略 回答者数と平均得点

■全カテゴリの中では最も平均得点が高いカテゴリとなった。経営戦略の策定（設問2）、ビジョンの共有（設問4）は比較的積極的に取り組まれている。一方で、戦略を具体的な計画やスケジュールに落とし込む経営計画の策定（設問3）や経営指標の把握・進捗管理（設問5）の取り組みに課題が見られる結果となった。

| 質問番号 | 中項目 | 質問文 | 2022年度診断 | | | | 回答先数 (先) | 回答率 (%) | 各設問の 平均得点 (5点満点) | 平均得点 (100点満点) |
|------|----------|---|----------|--|--|-----|-------------|------------|------------------------|------------------|
| | | | 回答 番号 | 回答 | | | | | | |
| 1 | 目指す姿の明確化 | 自社が置かれている経営環境下で、将来の目指す姿（ビジョン）を描けていますか？ | 1 | 描けていない。 | | 244 | 16.8% | 2.4 | 47.2 | |
| | | | 2 | これまでの経験から概念的な目指す姿（ビジョン）は描けている。 | | 622 | 42.9% | | | |
| | | | 3 | 経営環境を分析したうえで、中期的な（3年～5年先の）目指す姿（ビジョン）を描けている。 | | 386 | 26.6% | | | |
| | | | 4 | 経営環境を分析したうえで、長期的な（5年～10年先の）目指す姿（ビジョン）を描けている。 | | 129 | 8.9% | | | |
| | | | 5 | 経営環境を分析したうえで、既存領域だけではなく新規領域も含めた長期的な目指す姿（ビジョン）を描けている。 | | 68 | 4.7% | | | |
| 2 | 経営戦略の策定 | 目指す姿の実現のために経営戦略を定めていますか？ ※経営戦略とは、将来の目指す姿を達成するための方策のこと。 | 1 | 定めていない。 | | 292 | 20.2% | 2.5 | 47.2 | |
| | | | 2 | これまでの経験をもとに、戦略を策定している。 | | 516 | 35.6% | | | |
| | | | 3 | 自社の強み・弱み、外部環境（市場動向や顧客ニーズなど）を把握したうえで、戦略を策定している。 | | 346 | 23.9% | | | |
| | | | 4 | 自社の強み・弱み、外部環境（市場動向や顧客ニーズなど）を把握したうえで、戦略を策定し、定期的に改善や見直しも実施している。 | | 199 | 13.7% | | | |
| | | | 5 | 自社の強み・弱み、外部環境（市場動向や顧客ニーズなど）を把握したうえで、戦略を策定し、改善や見直しはもちろん、デジタル化に関する戦略も策定している。 | | 96 | 6.6% | | | |
| 3 | 経営計画の策定 | 経営戦略にもとづいた経営計画を定めていますか？ ※経営計画とは、単年度や複数年度にわたる具体的な売上高や利益などの数値目標や体制の整備などについての計画のこと。 | 1 | 定めていない。 | | 319 | 22.0% | 2.2 | 47.2 | |
| | | | 2 | 前年度の実績やこれまでの経験から、大まかな計画を立てている。 | | 731 | 50.4% | | | |
| | | | 3 | 経営戦略をもとに、単年度の経営計画を策定している。 | | 213 | 14.7% | | | |
| | | | 4 | 中期的な経営計画を策定しており、達成に向け、具体的な単年度のスケジュールなどに反映している。 | | 151 | 10.4% | | | |
| | | | 5 | デジタル化に関する計画を含む中期的な経営計画を策定しており、具体的な単年度のスケジュールなどに反映している。 | | 35 | 2.4% | | | |
| 4 | ビジョンの共有 | 目指す姿や経営戦略、経営計画などを発信し、全社的に共有していますか？ | 1 | 発信していない。 | | 489 | 33.7% | 2.5 | 47.2 | |
| | | | 2 | 発信しているが、あまり共有されていない。 | | 292 | 20.2% | | | |
| | | | 3 | 経営者の持つビジョンが経営層（役員）までは共有されている。 | | 280 | 19.3% | | | |
| | | | 4 | 経営者の持つビジョンが、幹部社員（部門の長）までは共有されている。 | | 211 | 14.6% | | | |
| | | | 5 | 経営者の持つビジョンが、全社員に共有されており、全社員がよく理解している。 | | 177 | 12.2% | | | |
| 5 | 経営指標の管理 | 経営計画達成のために、指標や目標値を定め、進捗を管理していますか？ | 1 | 指標や目標値を定めていない。 | | 573 | 39.5% | 2.1 | 47.2 | |
| | | | 2 | 指標や目標値を設定し、進捗を紙に記録し管理している。 | | 316 | 21.8% | | | |
| | | | 3 | 指標や目標値を設定し、各所にある数値やデータを手作業で集計し、管理している。 | | 380 | 26.2% | | | |
| | | | 4 | 指標や目標値を設定し、システム連携などにより数値を自動的に集計し、進捗が管理できる仕組みを構築している。 | | 135 | 9.3% | | | |
| | | | 5 | 指標や目標値を設定し、システム連携などにより数値を自動的に集計し、進捗を管理できる仕組みを構築している。また、当該数値をもとにPDCAサイクルを回している。 | | 45 | 3.1% | | | |

カテゴリ 2 組織体制と仕組み 回答者数と平均得点

■管理体制（設問 6）は積極的に取り組みが行われていることがうかがえる。一方、デジタル化の推進体制（設問 7）、投資の意思決定（設問 8）については、組織として基準やルールを定めている事業者は少数である。情報セキュリティの仕組み（設問 10）に関しては、対策をおこなっていないパソコンにセキュリティソフトを導入するにとどまっている事業者が 8 割以上で、情報セキュリティ体制（設問 9）と合わせて、不足の事態に備えるマニュアル策定やセキュリティ教育の必要性・重要性について認識を促すことも必要である。

| 質問番号 | 中項目 | 質問文 | 2022年度診断 | | | | | 各設問の平均得点 (5点満点) | 平均得点 (100点満点) |
|------|--------------|---|----------|--|-------------|-------|-----|--------------------|------------------|
| | | | 回答番号 | 回答 | 回答先数 (先) | (%) | | | |
| 6 | 管理体制 | 新たな方針策定や問題発生時に柔軟かつ迅速に決断する体制を構築していますか？ | 1 | 構築していない。 | 351 | 24.2% | 2.7 | | |
| | | | 2 | 体制の構築を検討している。 | 336 | 23.2% | | | |
| | | | 3 | 経営層の一部で判断する体制である。 | 388 | 26.8% | | | |
| | | | 4 | トップダウン・ボトムアップで意見が言える体制を構築している。 | 183 | 12.6% | | | |
| | | | 5 | どの層からも意見が言える体制を構築している。 | 191 | 13.2% | | | |
| 7 | デジタル化の推進体制 | 社内にデジタル化を統括し、推進する体制はありますか？ | 1 | 推進する体制はない。 | 552 | 38.1% | 2.0 | | |
| | | | 2 | 一部の経営層（役員）または担当者が推進する役割を担っている。 | 559 | 38.6% | | | |
| | | | 3 | 経営者や経営層（役員）がリーダーシップを発揮し、デジタル化を推進している。 | 213 | 14.7% | | | |
| | | | 4 | 経営者や経営層（役員）がリーダーシップを発揮し、推進するとともに、専門の部署や専属の担当者も配置している。 | 80 | 5.5% | | | |
| | | | 5 | 経営者や経営層（役員）が自ら推進するとともに、専門の部署・担当者も設置し、部門横断的なプロジェクトなどにより全社的に取り組む体制がある。 | 45 | 3.1% | | | |
| 8 | 投資の意思決定 | 投資の意思決定（判断）の基準やルールは定めていますか？ | 1 | 定めていない。 | 524 | 36.2% | 1.8 | 42.0 | |
| | | | 2 | 定めていないが、経営者や経営層（役員）は独自の判断基準を持っている。 | 754 | 52.0% | | | |
| | | | 3 | 組織としての判断基準やルールを定めている。 | 120 | 8.3% | | | |
| | | | 4 | 判断基準やルールを定めており、投資効果のモニタリングを行っている。 | 28 | 1.9% | | | |
| | | | 5 | 判断基準やルールを定め、投資対効果のモニタリングを行い、PDC Aサイクルを回している。検証結果をもとに、必要に応じて投資をやめる判断も行える。 | 23 | 1.6% | | | |
| 9 | 情報セキュリティ体制 | 人によるセキュリティ上の脅威（ウイルス感染、不正アクセスなど）を回避する体制はありますか？ | 1 | 行っていない。 | 616 | 42.5% | 1.9 | | |
| | | | 2 | 一部の社員を対象に、管理体制やルールなどについて教育を実施している。 | 490 | 33.8% | | | |
| | | | 3 | 全社員を対象に、管理体制やルールなどについて教育を実施している。 | 208 | 14.4% | | | |
| | | | 4 | セキュリティ対策の担当者を配置し、継続的に事例共有するなどの教育を行っている。 | 102 | 7.0% | | | |
| | | | 5 | セキュリティ対策の担当者を配置し、継続的に事例共有するなどの教育を行っている。また、教育の記録やフォローアップまで実施している。 | 33 | 2.3% | | | |
| 10 | 情報セキュリティの仕組み | 人では回避できないセキュリティ上の脅威（ウイルス感染、不正アクセスなど）に対して、具体的な対策をしていますか？ | 1 | 行っていない。 | 317 | 21.9% | 2.1 | | |
| | | | 2 | 業務に使用する全てのパソコン類にセキュリティソフトを入れている。 | 898 | 62.0% | | | |
| | | | 3 | 情報セキュリティ体制を整備し、マニュアルを策定するなど、不測の事態に備えている。 | 58 | 4.0% | | | |
| | | | 4 | 取り扱う情報の重要度を見極めて、業務やシステムの利用環境に応じ、パスワード設定やアクセス制限などの具体的な対応策を定めている。 | 90 | 6.2% | | | |
| | | | 5 | 自社専用のネットワークを設置するなど、外部からの不正アクセスを防ぐようなネットワーク設計を行っている。 | 86 | 5.9% | | | |

カテゴリ 3 デジタル人材育成 回答者数と平均得点

■全カテゴリの中で最も得点が低く、県内事業者の大きな課題となっている。デジタル人材の採用・育成計画（設問12）で約6割の事業者が「求める人材像や必要なスキル要件を定義していない」状況に加え、デジタルスキルの把握と活用（設問13）では、約5割が「社員のデジタルスキルを把握していない」と回答している。設問14からも具体的なデジタル人材の育成の取組を行っていないことがわかる。デジタル人材の育成・確保の必要性・重要性を啓蒙する活動や人材を確保できない事業者への支援施策など、多方面から取り組みが必要である。

| 質問番号 | 中項目 | 質問文 | 2022年度診断 | | | | | 各設問の平均得点 (5点満点) | 平均得点 (100点満点) |
|------|----------------|--|----------|---|-------------|-------|-----|--------------------|------------------|
| | | | 回答番号 | 回答 | 回答先数 (先) | (%) | | | |
| 11 | デジタル人材の確保 | システム導入をする際にどの程度の作業まで自社の人材でカバーできますか？ | 1 | 分からない。 | 677 | 46.7% | 2.1 | 34.6 | |
| | | | 2 | 自社の人材ではカバーできず、システム開発ベンダーに任せている。 | 345 | 23.8% | | | |
| | | | 3 | システム開発ベンダーに自社のシステムに求める要件を伝えることができる。 | 198 | 13.7% | | | |
| | | | 4 | システムに求める要件に対するシステム開発ベンダーからの提案内容を理解し、適切な判断ができる。 | 126 | 8.7% | | | |
| | | | 5 | 自社の人材が主導してシステム開発ベンダーなどに指示するなどし、システム導入を進めていくことができる。 | 103 | 7.1% | | | |
| 12 | デジタル人材の採用・育成計画 | デジタル化を推進するために求める人材像や必要なスキル要件を定義していますか？ | 1 | 定義していない。 | 871 | 60.1% | 1.5 | 34.6 | |
| | | | 2 | 定義していないが、求める人材像や必要なスキルと要件を認識している。 | 460 | 31.7% | | | |
| | | | 3 | 求める人材像や必要なスキルと要件を定義している。 | 80 | 5.5% | | | |
| | | | 4 | 求める人材像や必要なスキルと要件を定義しており、採用計画や育成計画のいずれかに反映している。 | 26 | 1.8% | | | |
| | | | 5 | 求める人材像や必要なスキルと要件を定義しており、採用計画と育成計画に反映している。 | 12 | 0.8% | | | |
| 13 | デジタルスキルの把握と活用 | 社員のデジタルスキルを可視化し、スキル情報を活用していますか？ | 1 | 把握していない。 | 722 | 49.8% | 1.7 | 34.6 | |
| | | | 2 | 概ね把握している。 | 594 | 41.0% | | | |
| | | | 3 | 把握し、可視化している。 | 69 | 4.8% | | | |
| | | | 4 | 把握・可視化し、配置に活用している。 | 38 | 2.6% | | | |
| | | | 5 | 把握・可視化し、配置と能力開発などに活用している。 | 26 | 1.8% | | | |
| 14 | デジタル人材の育成制度 | デジタル人材の育成に取り組んでいますか？ ※デジタル人材とは、最新のデジタル技術を活用して、企業に新たな価値を生み出す人材のこと。 | 1 | 意識的に取り組んでいない。 | 696 | 48.0% | 1.7 | 34.6 | |
| | | | 2 | 実務を通じた育成が中心。 | 596 | 41.1% | | | |
| | | | 3 | 一部の社員に社内・社外の研修やセミナーなどの機会を提供している。 | 117 | 8.1% | | | |
| | | | 4 | 全社員に社内・社外の研修やセミナーの機会を提供するとともに、資格取得の奨励なども実施している。 | 31 | 2.1% | | | |
| | | | 5 | 階層や職種に応じ、社内・社外の研修やセミナーの機会を用意するとともに、資格取得の奨励や人事制度との連携なども意識している。 | 9 | 0.6% | | | |
| 15 | 採用計画と外部連携 | 自社に足りないデジタルスキルを補うために、デジタル人材の採用や外部組織との連携に取り組んでいますか？ | 1 | 取り組んでいない。 | 758 | 52.3% | 1.8 | 34.6 | |
| | | | 2 | 自社に足りないデジタルスキルは把握しているが、採用・外部活用は行っていない。 | 448 | 30.9% | | | |
| | | | 3 | 自社に足りないデジタルスキルを把握し、採用・外部活用計画を立てている。 | 110 | 7.6% | | | |
| | | | 4 | 自社に足りないデジタルスキルを把握し、採用・外部活用に取り組んでいる。 | 108 | 7.5% | | | |
| | | | 5 | 自社に足りないデジタルスキルを有する人材を継続的に採用している。また、外部機関と継続的に協業や連携を行っている。 | 25 | 1.7% | | | |

カテゴリ 4 新規事業創発 回答者数と平均得点

■ デジタル人材育成に続き、得点が低く、県内事業者の大きな課題であると認識。顧客の声の共有・活用（設問17）では、約5%の事業者が顧客の声を活用していないもしくは蓄積しているもののデータ化していないと回答しており、まずはデジタルによる収集・蓄積の方法やデータ化することによるメリット（利活用）について情報提供が求められる。オープンイノベーションでは、社外リソースとの連携（設問19）については65%の事業者が「取り組んでいない。必要性を感じていない」と回答しており、成功事例やメリット・デメリットなどを提供するなかで、まずはオープンイノベーションが変革の選択肢の一つになるよう啓蒙する活動が求められる。

| 質問番号 | 中項目 | 2022年度診断 | | | | | | |
|------|--------------|--|------|--|---------|-------|----------------|--------------|
| | | 質問文 | 回答番号 | 回答 | 回答先数(先) | (%) | 各設問の平均得点(5点満点) | 平均得点(100点満点) |
| 16 | 企業文化・組織風土 | 新規事業創発に取り組む企業文化や組織風土はありますか？ | 1 | 意識したことがない。 | 501 | 34.6% | 2.2 | |
| | | | 2 | 取り組んでいるが、経営者のみが行う文化・風土である。 | 462 | 31.9% | | |
| | | | 3 | 経営層（役員）や一部の幹部社員（部門の長）が取り組む文化・風土である。 | 288 | 19.9% | | |
| | | | 4 | 全社員が活発にアイデアの提言や挑戦できる風土が形成されている。 | 144 | 9.9% | | |
| | | | 5 | 全社員が活発に協議し、必要に応じ社外の知見やノウハウを積極的に取り入れている。また、失敗を恐れず挑戦できる風土が形成されている。 | 54 | 3.7% | | |
| 17 | 顧客の声の共有・活用 | 苦情・要望・ニーズなどの顧客の声を可視化し、活用していますか？ | 1 | 活用していない。 | 425 | 29.3% | 2.1 | |
| | | | 2 | 苦情・要望・ニーズなどの顧客の声を紙資料などで蓄積しているが、データ化していない。 | 666 | 46.0% | | |
| | | | 3 | 苦情・要望・ニーズなどの顧客の声をデータで蓄積し、可視化している。 | 212 | 14.6% | | |
| | | | 4 | 苦情・要望・ニーズなどの顧客の声をデータ化、蓄積、可視化しており、分析結果を新規商品開発や商品の改善に活用している。 | 116 | 8.0% | | |
| | | | 5 | 苦情・要望・ニーズなどの顧客の声をデータ化、蓄積、可視化しており、分析結果を新規事業の創発に活用している。 | 30 | 2.1% | | |
| 18 | 先端技術情報の収集と活用 | デジタル技術の特徴や活用方法に関する情報収集を行い、新規事業創発に活用していますか？ | 1 | 情報収集していない。 | 573 | 39.5% | 1.9 | 38.1 |
| | | | 2 | 情報を収集しているが、活用方法や事例などを全社的に共有する仕組みはない。 | 637 | 44.0% | | |
| | | | 3 | 情報収集を行い、活用方法や事例などを全社的に共有する仕組みがある。 | 140 | 9.7% | | |
| | | | 4 | 情報収集を行い、活用方法や事例などを全社的に共有し、新規商品開発や商品の改善に活用している。 | 64 | 4.4% | | |
| | | | 5 | 情報収集を行い、活用方法や事例などを全社的に共有し、新規事業の創発に活用している。 | 35 | 2.4% | | |
| 19 | オープンイノベーション | 社外リソース（産学官等）と連携し、新たな製品・サービスの開発に取り組んでいますか？ | 1 | 取り組んでいない。必要性を感じていない。 | 936 | 64.6% | 1.6 | |
| | | | 2 | セミナー等に参加し、連携事例や技術に関する情報を収集している。 | 324 | 22.4% | | |
| | | | 3 | 新製品・サービスの共同開発に向けて、外部機関との協議を始めている。 | 92 | 6.3% | | |
| | | | 4 | 新製品・サービスの共同開発に向けて、外部機関との試行プロジェクトに着手している。 | 40 | 2.8% | | |
| | | | 5 | 外部機関と連携し、新製品・サービスを共同開発している。 | 57 | 3.9% | | |
| 20 | デジタルマーケティング | デジタル技術を用いたマーケティングに取り組んでいますか？ | 1 | 取り組んでいない。 | 774 | 53.4% | 1.8 | |
| | | | 2 | 取り組んでいないが、デジタルマーケティングに関する情報を収集している。 | 307 | 21.2% | | |
| | | | 3 | Web広告やSNSなどの自社に合った顧客獲得・育成手法を導入している。 | 260 | 17.9% | | |
| | | | 4 | ターゲットとなる顧客像を設定し、効率的な顧客獲得を実現している。 | 64 | 4.4% | | |
| | | | 5 | 収集した顧客情報をもとに分析を行い、製品やサービスの改善活動に活用している。 | 44 | 3.0% | | |

カテゴリ5 デジタルツール 回答者数と平均得点

■情報の分析と活用（設問21）から、6割以上の事業者が紙管理からの脱却に向けて、データ化に着手していることがわかる。一方で、データを分析している事業者は少数であり、データ分析スキルの習得講習等のニーズが高い可能性がある。クラウド（設問22）やコミュニケーションツール（設問24）を活用している事業者は一定数いるものの、平均点は2.1と高くはない状況。先端技術・ツールの活用（設問23）では「活用を検討したことがない」という事業者が54%いるが、30%が情報収集段階と回答しており、情報提供が求められる。テレワークに関しては環境整備が進んでいない結果となっているが、事業規模からテレワーク環境の整備が必要ない事業者も一定数含まれている可能性がある。

| 質問番号 | 中項目 | 質問文 | 2022年度診断 | | | | | 各設問の平均得点 (5点満点) | 平均得点 (100点満点) |
|------|---------------|---|----------|---|-------------|-------|-----|--------------------|------------------|
| | | | 回答番号 | 回答 | 回答先数 (先) | (%) | | | |
| 21 | 情報の分析と活用 | 顧客情報や経営・現場情報などの情報をデータ化し、分析ツールを活用して経営や業務に役立てていますか？ ※分析ツールとは、企業が持つデータ | 1 | 情報を手動で収集し、紙で管理している。 | 495 | 34.2% | 2.1 | 38.7 | |
| | | | 2 | 情報をエクセルなどに転記し、データで管理している。 | 511 | 35.3% | | | |
| | | | 3 | データ化した情報をエクセルなどを用手作業で分析を行っている。 | 298 | 20.6% | | | |
| | | | 4 | 社内情報をデータ化し、分析ツールで分析している。 | 88 | 6.1% | | | |
| | | | 5 | 社内・社外の情報をデータ化し、分析ツールで分析している。 | 57 | 3.9% | | | |
| 22 | コスト削減・業務効率化 | 目的に応じたクラウドの活用ができていますか？ ※クラウドとは、インターネットを介して提供される業務アプリケーション（経費精算、給与計算など） | 1 | クラウドの活用を検討したことがない。 | 535 | 36.9% | 2.1 | | 38.7 |
| | | | 2 | クラウドの活用を検討しているが、具体的な取組に至っていない。 | 374 | 25.8% | | | |
| | | | 3 | 一部の業務・部門で、目的に応じたクラウドの活用を始めている。 | 420 | 29.0% | | | |
| | | | 4 | 多くの業務・部門で、目的に応じたクラウドの活用を始めている。 | 79 | 5.5% | | | |
| | | | 5 | クラウドファーストの考え方で検討を行い、多くの業務・部門で活用している。 | 41 | 2.8% | | | |
| 23 | 最先端技術・ツールの活用 | AI、RPA、IoTなどのデジタルツールを活用し、業務の改善に役立てていますか？ | 1 | デジタルツールの活用を検討したことがない。 | 779 | 53.8% | 1.8 | 38.7 | |
| | | | 2 | デジタルツールに関する情報を収集している。 | 441 | 30.4% | | | |
| | | | 3 | デジタルツールの導入に向けた準備に着手している。 | 99 | 6.8% | | | |
| | | | 4 | デジタルツールの試行導入や実証実験を行っている。 | 50 | 3.5% | | | |
| | | | 5 | デジタルツールを活用し、業務改善に役立てている。 | 80 | 5.5% | | | |
| 24 | コミュニケーション方法 | グループウェアなどのデジタルツールを活用し、コミュニケーションをどのように行っていますか？ | 1 | 紙や口頭が中心。 | 842 | 58.1% | 2.1 | | 38.7 |
| | | | 2 | グループウェアやチャットの導入に向けて、検討を始めている。 | 146 | 10.1% | | | |
| | | | 3 | 一部の社員がグループウェアやチャットを活用している。 | 183 | 12.6% | | | |
| | | | 4 | 一部の部署でグループウェアやチャットを活用している。 | 85 | 5.9% | | | |
| | | | 5 | 全組織・全社員がグループウェアやチャットを活用している。 | 193 | 13.3% | | | |
| 25 | テレワークによる働き方改革 | 工場や対面業務等テレワークが不可能な社員を除き、テレワーク、リモート会議等、リモートで仕事ができる環境を整備・活用していますか？ | 1 | リモートで仕事できる環境は整備していない。 | 874 | 60.3% | 1.6 | 38.7 | |
| | | | 2 | Web会議システムを活用する程度にとどまっている。 | 341 | 23.5% | | | |
| | | | 3 | Web会議システムに加え、自宅から社内ネットワークにアクセスする環境を構築している。 | 145 | 10.0% | | | |
| | | | 4 | Web会議システム、自宅から社内ネットワークにアクセスする環境の他、社内で行う仕事の大半を在宅で実施できる環境を整備している。 | 58 | 4.0% | | | |
| | | | 5 | 社内で行う仕事のほとんどを在宅で実施できる環境を整備し、テレワークをしている社員の業務効率を確認・評価することができている。 | 31 | 2.1% | | | |

カテゴリ 6 業務改革 回答者数と平均得点

■会計管理のデジタル化（設問28）については、比較的取り組みがなされているが、インボイス・電子帳票保存法等への対応を見据えたデジタル化を進めているのは約28%にとどまる。人的資源管理のデジタル化（設問26）、資産管理のデジタル化（設問27）に特に課題が見られる結果となった。「ヒト・モノ・カネ」の情報をデジタル化することによってどのような効果が期待できるかなども含め、事業者の情報提供し、さらなる業務効率化、生産性向上を図っていくことが求められる。

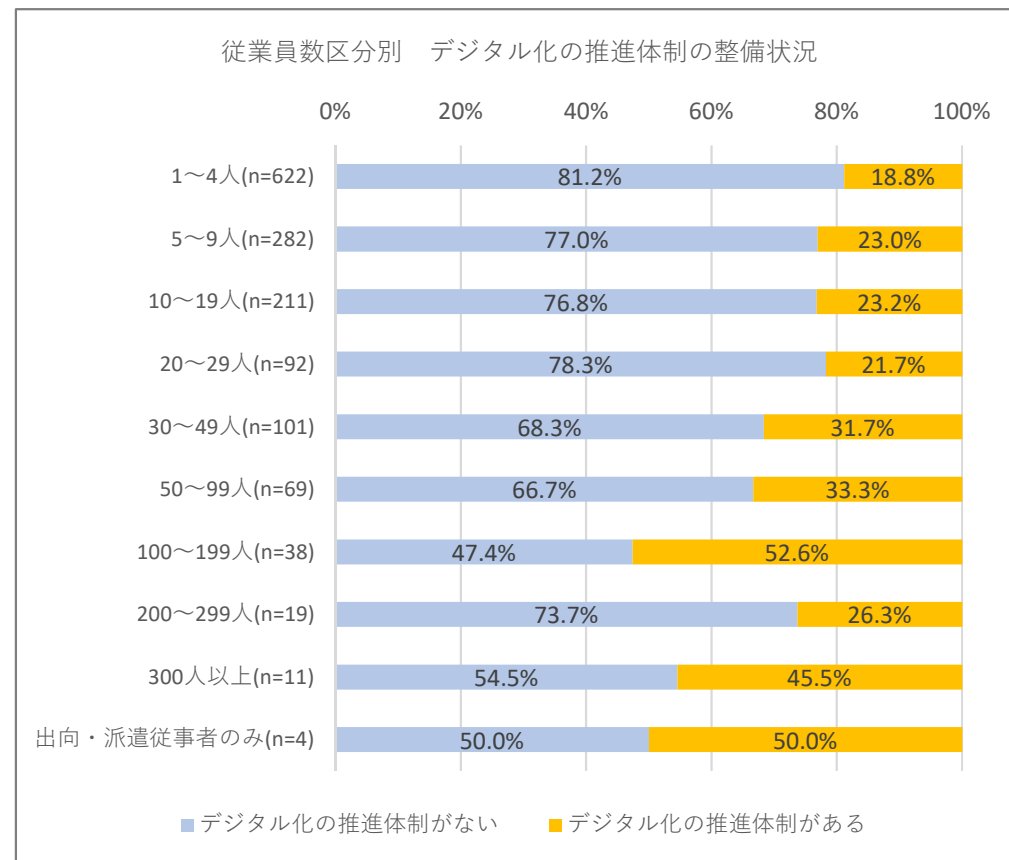
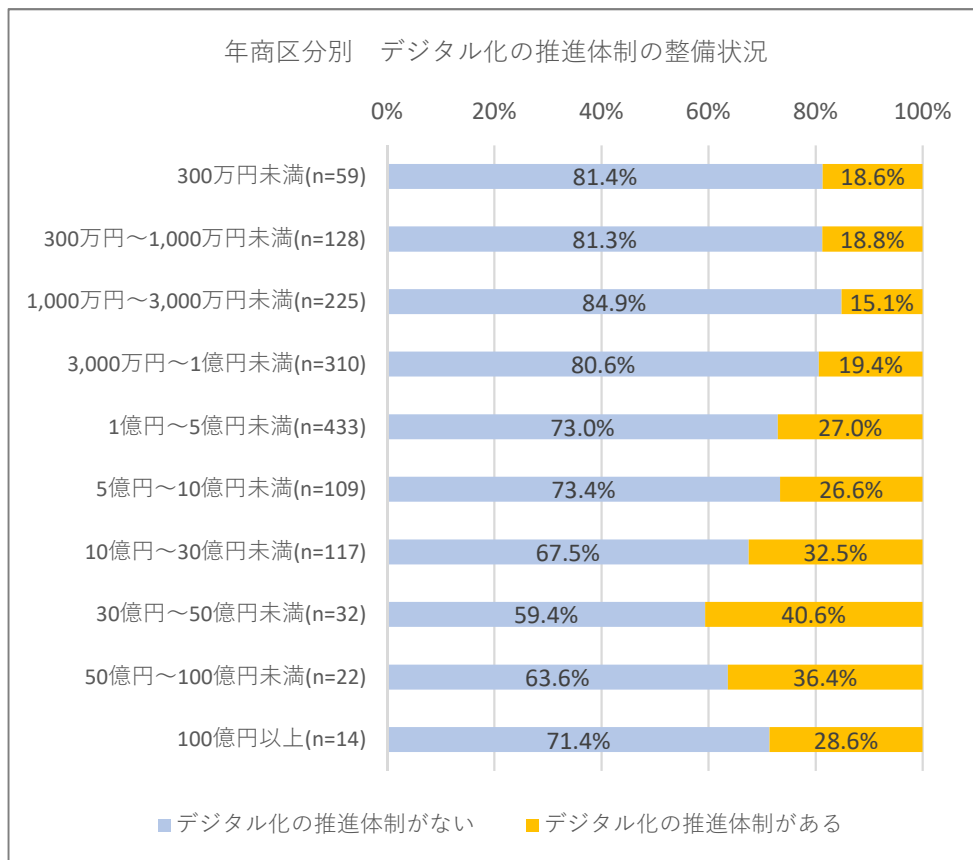
| 質問番号 | 中項目 | 質問文 | 2022年度診断 | | | | 各設問の平均得点(5点満点) | 平均得点(100点満点) |
|------|--------------|--|----------|--|---------|-------|----------------|--------------|
| | | | 回答番号 | 回答 | 回答先数(先) | (%) | | |
| 26 | 人的資源管理のデジタル化 | 人材管理などの人事業務に関してシステムやアプリケーションを活用していますか？ | 1 | 活用していない。 | 853 | 58.9% | 1.7 | |
| | | | 2 | 一部の人事業務をエクセルやデータベースで管理している。 | 331 | 22.8% | | |
| | | | 3 | ほぼ全ての人事業務をエクセルや社内のデータベースで管理している。 | 187 | 12.9% | | |
| | | | 4 | 人事管理システムを導入し、採用から教育、評価、給与・人件費などの労務管理を一元管理している。 | 66 | 4.6% | | |
| | | | 5 | 人事管理システムを導入し、様々に活用するとともに、集約した人材データを人材育成、評価、人材配置などに活かしている。 | 12 | 0.8% | | |
| 27 | 資産管理のデジタル化 | 社内で保持しているあらゆるモノ(設備、物品、在庫等)のデータを一元管理していますか？ | 1 | できていない。 | 611 | 42.2% | 1.9 | |
| | | | 2 | 一部の資産をエクセルやデータベースで管理している。 | 581 | 40.1% | | |
| | | | 3 | あらゆるモノをエクセルやデータベースで管理している。 | 138 | 9.5% | | |
| | | | 4 | 保有しているモノに関する情報をパッケージソフト等のシステムで一元管理し、定期的に棚卸を実施している。 | 83 | 5.7% | | |
| | | | 5 | 保有しているモノの出入庫情報が自動で反映され、常に最新の状況が確認できる。 | 36 | 2.5% | | |
| 28 | 会計管理のデジタル化 | 経理・会計業務をデジタル化していますか？ | 1 | 請求書や注文書などを紙で管理している。 | 383 | 26.4% | 2.5 | 40.5 |
| | | | 2 | 一部の経理・会計情報に関して、エクセルやデータベースで管理している。 | 477 | 32.9% | | |
| | | | 3 | あらゆる経理・会計情報をエクセルやデータベースで管理している。 | 191 | 13.2% | | |
| | | | 4 | 経理・会計管理に関するパッケージソフト等で一元管理している。また、適格請求書(インボイス)、電子帳簿保存法などの制度対応も見据えつつ、デジタル化を進めている。 | 298 | 20.6% | | |
| | | | 5 | データ化された経理・会計情報を分析し、経営判断に活かしている。また、適格請求書(インボイス)、電子帳簿保存法などの制度対応も見据えつつ、デジタル化を進めている。 | 100 | 6.9% | | |
| 29 | 作業手順の標準化 | 作業手順の標準化は行っていますか？ | 1 | 作業手順は、現場の担当者に任せている。 | 637 | 44.0% | 1.9 | |
| | | | 2 | 作業手順は標準化できているが、文書化していない。 | 458 | 31.6% | | |
| | | | 3 | 作業手順を標準化し、文書化している。 | 238 | 16.4% | | |
| | | | 4 | 作業手順を標準化し、データ化によりいつでも検索・参照することができる。 | 83 | 5.7% | | |
| | | | 5 | 作業手順をデジタルツールにより可視化しており、タブレットなどで確認しながら作業を進めることができる。 | 33 | 2.3% | | |
| 30 | ペーパレス化 | 書類のペーパレス化を推進していますか？ | 1 | 書類はほぼ紙で作成・保管している。 | 421 | 29.1% | 2.2 | |
| | | | 2 | 新しく作成する書類はワードやエクセルなどで作成しているが、原本を紙で保管している。 | 532 | 36.7% | | |
| | | | 3 | 新しく作成する書類はワードやエクセルなどで作成し、原本をデータで保管している。 | 346 | 23.9% | | |
| | | | 4 | 過去の書類も含め、データ化すべきものは原本をデータ化し、保管している。 | 80 | 5.5% | | |
| | | | 5 | 過去の書類も含め、データ化すべきものは原本をデータ化・保管し、必要な時に情報を検索・参照することができる。 | 70 | 4.8% | | |

デジタル化の推進体制の状況

■先端技術の実用化やパッケージ化が進み、近い将来、中小企業においてもデジタル技術をより容易に活用することが可能になると予想される。変化への対応に向けて、事業者はデジタル化に向けた体制整備に着手することが重要であることから、デジタル化の推進体制（設問7）について、年商及び従業員数規模別にデジタル化の推進体制の有無を集計した。従業員規模100名を超える企業においては、体制整備が整ってきている状況であることがうかがえる。

【設問7】社内にデジタル化を統括し、推進する体制はありますか？ → ※設問7の回答3以上を「デジタル化の推進体制あり」と設定

- 回答1 推進する体制はない。
- 回答2 一部の経営層（役員）または担当者が推進する役割を担っている。
- 回答3 経営者や経営層（役員）がリーダーシップを発揮し、デジタル化を推進している。
- 回答4 経営者や経営層（役員）がリーダーシップを発揮し、推進するとともに、専門の部署や専属の担当者も配置している。
- 回答5 経営者や経営層（役員）が自ら推進するとともに、専門の部署・担当者も設置し、部門横断的なプロジェクトなどにより全社的に取り組む体制がある。



デジタルツールの活用状況

■次年度以降の支援施策（セミナーや技術習得の機会の提供）の検討に向けて、カテゴリ4「デジタルツール」の回答内容から、ツールの活用状況を集計。

■クラウドの活用（設問22）やグループウェアの活用（設問24）は約3割以上が活用していると回答。情報収集段階にある事業者が多い「AI・RPA・IoT」や「クラウド活用」に関しては、セミナー等を通じた情報提供ニーズがあるものと推量。

| 質問番号 | 中項目 | 質問文 | 回答番号 | 回答 | 回答者数 | (%) | 活用状況 | グラフ |
|------|---------------|--|------|---|------|-------|---------|--------------------------|
| 21 | 情報の分析と活用 | 顧客情報や経営・現場情報などの情報をデータ化し、分析ツールを活用して経営や業務に役立てていますか？ | 1 | 情報を手動で収集し、紙で管理している。 | 495 | 34.2% | 活用していない | 分析ツールの活用状況 (n=1449) |
| | | | 2 | 情報をエクセルなどに転記し、データで管理している。 | 511 | 35.3% | 活用していない | |
| | | | 3 | データ化した情報をエクセルなどを用い手作業で分析を行っている。 | 298 | 20.6% | 活用していない | |
| | | | 4 | 社内情報をデータ化し、分析ツールで分析している。 | 88 | 6.1% | 活用している | |
| | | | 5 | 社内・社外の情報をデータ化し、分析ツールで分析している。 | 57 | 3.9% | 活用している | |
| 22 | コスト削減・業務効率化 | 目的に応じたクラウドの活用ができていますか？ | 1 | クラウドの活用を検討したことがない。 | 535 | 36.9% | 活用していない | クラウドの活用状況 (n=1449) |
| | | | 2 | クラウドの活用を検討しているが、具体的な取組に至っていない。 | 374 | 25.8% | 活用していない | |
| | | | 3 | 一部の業務・部門で、目的に応じたクラウドの活用を始めている。 | 420 | 29.0% | 活用している | |
| | | | 4 | 多くの業務・部門で、目的に応じたクラウドの活用を始めている。 | 79 | 5.5% | 活用している | |
| | | | 5 | クラウドファーストの考え方で検討を行い、多くの業務・部門で活用している。 | 41 | 2.8% | 活用している | |
| 23 | 最先端技術・ツールの活用 | AI、RPA、IoTなどのデジタルツールを活用し、業務の改善に役立っていますか？ | 1 | デジタルツールの活用を検討したことがない。 | 779 | 53.8% | 活用していない | AI/RPA/IoTの活用状況 (n=1449) |
| | | | 2 | デジタルツールに関する情報を収集している。 | 441 | 30.4% | 活用していない | |
| | | | 3 | デジタルツールの導入に向けた準備に着手している。 | 99 | 6.8% | 活用していない | |
| | | | 4 | デジタルツールの試行導入や実証実験を行っている。 | 50 | 3.5% | 活用していない | |
| | | | 5 | デジタルツールを活用し、業務改善に役立っている。 | 80 | 5.5% | 活用している | |
| 24 | コミュニケーション方法 | グループウェアなどのデジタルツールを活用し、コミュニケーションをどのように行っていますか？ | 1 | 紙や口頭が中心。 | 842 | 58.1% | 活用していない | グループウェアの活用状況 (n=1449) |
| | | | 2 | グループウェアやチャットの導入に向けて、検討を始めている。 | 146 | 10.1% | 活用していない | |
| | | | 3 | 一部の社員がグループウェアやチャットを活用している。 | 183 | 12.6% | 活用している | |
| | | | 4 | 一部の部署でグループウェアやチャットを活用している。 | 85 | 5.9% | 活用している | |
| | | | 5 | 全組織・全社員がグループウェアやチャットを活用している。 | 193 | 13.3% | 活用している | |
| 25 | テレワークによる働き方改革 | 工場や対面業務等テレワークが不可能な社員を除き、テレワーク、リモート会議等、リモートで仕事ができる環境を整備・活用していますか？ | 1 | リモートで仕事できる環境は整備していない。 | 874 | 60.3% | 活用していない | テレワークの活用状況 (n=1449) |
| | | | 2 | Web会議システムを活用する程度にとどまっている。 | 341 | 23.5% | 活用していない | |
| | | | 3 | Web会議システムに加え、自宅から社内ネットワークにアクセスする環境を構築している。 | 145 | 10.0% | 活用していない | |
| | | | 4 | Web会議システム、自宅から社内ネットワークにアクセスする環境の他、社内で行う仕事の大半を在宅で実施できる環境を整備している。 | 58 | 4.0% | 活用している | |
| | | | 5 | 社内で行う仕事のほとんどを在宅で実施できる環境を整備し、テレワークをしている社員の業務効率を確認・評価することができている。 | 31 | 2.1% | 活用している | |

診断を実施した事業者の反応

■ 診断を実施した事業者からは、「デジタル化の必要性を感じた」「定期的に診断したい」「社内で共有したい」といったデジタル化への意識が高まったと見受けられるポジティブなコメントを受領。事業者のデジタル化取組意識の醸成や現状把握に一定の効果があることを確認した。

| 全コメント数 | 1つ以上ポジティブなコメントがあった事業者数 | 参考になった／参考にする | 現状認識ができた／課題が認識できた | デジタル化に取り組むの必要性を感じた／今後取り組んでいきたい | 継続診断していきたい／診断システムを活用していきたい | 配信情報が有効／施策について情報が欲しい | ポジティブなコメントの割合 (%) |
|--------|------------------------|--------------|-------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------------|-------------------|
| 408 | 315 | 97 | 98 | 127 | 13 | 18 | 77.2% |

診断実施事業者からのコメント（一部抜粋）

全業種の平均と比較できるので**自社のDX化推進状況がよくわかった**。今回の経営診断を通じて、**今後のDX化検討の参考にしたい**。

うちは比較的DX化は進んでいると思っていますが、**現状の立ち位置を理解するうえでもいい機会**。

内容をみせてもらったが、ITに関する専門家を置くとか、**指導の内容など、出来ていない部分がたくさんあった。参考になりました**。

DX化については当社も進めておりシステム担当も配置している。**今回の経営診断を通じて他社との比較や今後の課題等掘り起こしに利用したい**。

昨年もデジタル経営診断を行いました、あまり大きく変わっていませんでした。**今後クラウド化は必要である**と思いました。

一部、親会社の規程にあてはめて回答した部分もあり高得点になったのでは。**DXに関する補助金やセミナーの情報についてはありがたい**。

商品管理にてシステムがあるものの、**経営判断におけるデジタル化についてはまだまだ未整備である旨、診断結果より認識できた**。

平均点よりは低い結果となっているけどこういう数値が見れるのは楽しい。**どこが課題になっているのかがわかる。うちはデジタル人材育成。業務上でデジタル導入できる部分のイメージがわからないので継続して考えてみる**。

自社のレベル感の低さがわかったとともに、製造現場でDX導入となるとかなりハードルが高い（何をに入れていけばいいかわからない）。**ベースモデルがあればわかりやすいので、今後同業の取り組み事例があればまた教えてほしい**。

経営戦略部門は業界平均を上回った。また業務改革部門は業界平均を大きく上回ったものの、**組織体制の仕組み、デジタル人材育成、新規事業創発、デジタルツール部門において業界平均を下回る結果となったことから、今後、改善の余地がある**と考えている。